

●ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
 ●取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

# 安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使用されている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 その表示や意味は次のとおりです。



取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。



本製品を安全にお使いいただくために、次のことがらを守ってください。



	主意	
$\bigotimes_{\texttt{A}}$	● 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線は しないでください。火災・感電の原因となります。	
$\bigotimes_{\texttt{A}}$	● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。	EEL Do
A	<ul> <li>電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラ グの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って 抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。</li> </ul>	L'and the second
$\bigotimes_{\mathbb{A}}$	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に 曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないで ください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源 コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コード または電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、 お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」 フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。	
<b>e</b>	<ul> <li>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。火災の原因となります。</li> </ul>	
$\bigotimes_{}$	<ul> <li>直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0~40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。</li> </ul>	
$\bigotimes_{}$	<ul> <li>火の気のあるもののそばでは使用しないでください。</li> <li>(火の消えていないたばこ、ろうそくなど)火災の原因になります。</li> </ul>	
$\bigotimes$	<ul> <li>野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れたときはお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル 0120-340-233にご連絡ください。</li> </ul>	

	注意	
$\bigcirc$	<ul> <li>以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。</li> <li>温度が著しく高くなる場所</li> <li>温度が著しく低くなる場所</li> <li>急激に温度が変化する場所</li> <li>湿気、湯気の多い場所</li> <li>火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所</li> <li>屋外や直射日光の当たる場所</li> <li>ほこり、油煙の多い場所</li> </ul>	
$\bigotimes_{\bigstar}$	● スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。	
$\bigotimes_{\bigwedge}$	<ul> <li>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には 置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下など してケガをする原因となります。</li> </ul>	
$\bigotimes_{}$	<ul> <li>ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から30cm以上離して使用してください。また、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。</li> </ul>	
	<ul> <li>ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>	
	換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。	

	注意	
0	<ul> <li>ミシン本体の重さは約9kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は急激、または不用意な動作をしないでください。</li> <li>腰や膝を痛める原因となります。</li> </ul>	
0	<ul> <li>ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたり、すべって落としたりして、 ケガの原因となります。</li> </ul>	
0	<ul> <li>ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品</li> <li>を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。</li> </ul>	
	<ul> <li>お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電・ケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。</li> </ul>	
	● 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグを コンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原 因となります。	
	<ul> <li><u>ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリーなど、動いているすべての部品に手を</u>近づけないでください。</li> </ul>	
$\triangle$	● リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでくだ さい。すべったときにケガをするおそれがあります。本 来の使用目的以外での使用はしないでください。	
0	<ul> <li>針と押えは、必ず電源を切ってから交換してください。</li> <li>万一、スタート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動してケガをするおそれがあります。</li> </ul>	
$\bigcirc$	● 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないで ください。ケガ・針折れの原因となります。	Non the second s

	注意	
	● <u>針の下などに指を入れないでください。</u> ケガをするおそ れがあります。	Martin Contraction
0	<ul> <li>上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示 に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中 に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそ れがあります。</li> </ul>	
$\bigotimes$	● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。	Rec Co Co
	<ul> <li>万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>	
	<ul> <li>万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」 フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。</li> </ul>	
0	<ul> <li>ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。</li> </ul>	
$\bigcirc$	<ul> <li>お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用 するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がケガ をしないよう十分注意してください。</li> </ul>	
$\bigcirc$	<ul> <li>フットコントローラーの上に物を置かないでください。ケガ・ 故障の原因となります。</li> </ul>	



刺しゅう機を取り付けたままミシンを移動させないでください。刺しゅう機が落下してケガをするおそれがあります。

# ☆ お願い

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan. 職業用として使用する場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 仕様および外観は、品質改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233 にご連絡ください。

# 警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。 警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。





# もくじ

	安全にお使いいただくために	1
	警告ラベルについて	6
	もくじ	7
	はじめに	
	製品の特長	
	付属品を確認してください	
	別売オプション	
	各部の名前とはたらき	
	前面	
	針・押え部分	
	右側面 · 背面	
	操作人イッチ	
	床IF/ (イル	
1	ぬう前の準備	
	<b>雪酒を入わまし,ょう</b>	24
	<b>电応/C/116006 J</b> 雷源に関する注音	24
	電源を入れる	
	電源を切る	
	液晶画面の操作	
	液晶画面の見方	
	ミシンの設定を確認・変更する	
	ミシンの使い方を確認する	
	糸をセットしましょう	
	下糸を巻く	
	下糸をセットする	
	上 た 走 た 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走	
	下糸を引き出してからぬう	
	針を交換する	46
	当て こく こく う し	46
	針を交換する	
	押えを交換する	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	押えホルダーを取り外す	51
	筒ものや大きなものをぬう	
	フリーアームにする	
	エクストラテーブルを使う	
	ワイドテーブルを使う	

2	ぬい方の基本	55
	ぬってみましょう	
	ソーイングの手順	
	布地をセットする	57
	ミシンをスタートさせる	57
	返しぬい/止めぬいをする	60
	糸を切る	6I
	ぬい目を調節する	63
	模様の幅を調節する	63
	ぬい目の長さを調節する	64
	糸調子を調節する	64
	便利な機能	66
	自動で返しぬい/止めぬいをする	66
	自動で糸を切る	67
	<b>模様の設定を記憶させる</b>	
	上手にぬうコツ	70
	試しぬいをする	70
	ぬう方向を変える	
	カーフをぬう	
	押ん比を調即9 0 厚いた地をゆう	
	序い17世紀では) 両ファフナー(マジックテープ®) ためう	
	ゴング ハン (マングング ジン) とゆう	
	伸びる布地をぬう	
	ビュールや皮をぬう	72
	ぬいしろの幅をそろえる	73
	ニーリフターを使う	73
3	いろいろなぬい方	/5
	ぬい方を選びましょう	
	模様の種類	76
	模様を選ぶ	77
	ぬいしろを始末する	
	たち目かがり押え <g>を使ったたち目かがり</g>	
	ジグザグ押え <j>を使ったたち目かがり</j>	
	サイドカッター押え <s>を使ったたち目かがり</s>	
	地ぬいをする	
	地ぬい	
	すそ上げをする	
	ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける	an
	ボクン穴かがりをする	

ボタンを付ける	
ファスナーを付ける	
つき合わせ	
片返し	
ファスナーを付ける /パイピングする	102
つき合わせ	102
パイピング	103
伸びる左枷めゴノニープをゆう	104
伸びる11地でコムノーノをぬノ	
〒/1/テープ(寸 ナ	105
	100
アップリク/ハッテワーク/キルトをぬつ	
ハッナゾーク(クレインーキルト)	108
	100
キルジョンナルト	
クリー こ クヨクイルト	111
又大にしたいところをぬう	
二重ぬい	
リ んとの	דוו דוו
$\int \langle \mathcal{G}(1000)   \langle \mathcal{G} - \mathcal{I} \mathcal{G} \rangle \rangle = 0$	
はとめ穴を作る	
横送り(直線・ジグザグ)	
飾りぬいをする	
ファゴティング	
スカラップ	
スモッキング	
シェルタック	
つき合わせ	
ヘアルーム	
いろいろな模様をぬう	
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには	<b> 130</b>
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方	<b>130</b> 
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる	<b></b>
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様をとり返しぬう	<b>130</b> 130 130 131 131
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様をくり返しぬう 模様を確認する	<b>130</b> 130 130 131 131 132 132
<b>いろいろな模様をぬう</b>	<b>130</b> 130 130 130 131 132 132 132 133
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様を全り返しぬう 模様を確認する 模様の大きさを変える 模様の密度を変える	<b>130</b> 130 130 131 131 132 132 133 133
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様を経み合わせる 模様を確認する 模様を確認する 模様の大きさを変える 模様の密度を変える 模様の長さを変える	<b>130</b> 130 130 131 132 132 132 133 133 133 133 134
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様を確認する 模様の大きさを変える 模様の密度を変える 模様の長さを変える 模様を反転させる	<b>130</b> 130 130 131 131 132 132 133 133 134 135
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様を経み合わせる 模様を確認する 模様を確認する 模様の大きさを変える 模様の良さを変える 模様の長さを変える 模様を反転させる ステップ模様を作る	<b>130</b> 130 130 131 131 132 132 133 133 133 134 135
<b>いろいろな模様をぬう</b> 模様をきれいにぬうには 模様のぬい方 模様を組み合わせる 模様を全り返しぬう 模様を確認する 模様の大きさを変える 模様の密度を変える 模様の反転させる ステップ模様を作る 模様を記憶させる	<b>130</b> 130 130 131 132 132 132 133 133 134 135 135 137

	オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)	
	イラストを描く	
	イラストを入力する	
	作品例	
4	刺しゅう	145
	きれいに刺しゅうをするには	
	用意するもの	
	刺しゅうの手順	
	刺しゅう押え <q>を取り付ける</q>	
	刺しゅう押え <q>を取り付ける</q>	
	刺しゅう押え <q>を取り外す</q>	
	刺しゅう機を取り付ける	
	刺しゅう機を取り付ける	
	刺しゅう機を取り外す	
	布地を用意する	
	布地に接着芯を貼る	
	布地を刺しゅう枠に張る	
	刺しゅう枠を取り付ける	
	刺しゅう枠を取り付ける	
	刺しゅう枠を取り外す	
	刺しゅう模様を選びましょう	
	刺しゅう模様の種類	
	液晶画面の操作	
	文字模様を選ぶ	
	ブラザーワンポイント模様 / ワンポイント模様	
	枠模様を選ぶ	
	刺しゆうをしてみましょう	170
	リンボイント模様を刺しゆつする	
		172
	こんなとき	
	レイアリトを調整9る 公理乙を調節する	
	ホ詞丁で詞即9る 剤Ⅰ.ゅうし直したいとき	
	途中で糸がなくなったとき	
	刺しゅうを中断するとき	
	模様の記憶機能を使う	180
	模様を記憶させる	
	模様を呼び出す	
	パソコンから模様を呼び出す	

5 付録	
<b>お手入れ</b> 注油に関して ミシンを保管するときのご注意 本体表面の掃除 かまの掃除	<b></b>
困ったとき	
よくあるご相談	
上糸がつる	
布裏で糸がからまる	
糸調子が合わない	
布がミシンに入り込んでとれなくなった	
こんなときには	
液晶画面のメッセージ表示	
液晶画面に何も表示されないとき	
電子音	
アップグレードの方法	
本体仕様	
さくいん	

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」(→P.1)をよくお読みいただき、この取扱説明書を ご覧になり各機能の正しい使い方を十分にご理解の上、末永くご愛用ください。 また、取扱説明書は読み終わったあともいつでもご覧になれるところに保管してください。

# 製品の特長

実用模様・飾り模様・文字をぬうことができます。また、別売りの刺しゅう機をご購入すると、ワン ポイント模様・枠模様・文字を刺しゅうすることもできます。



# 付属品を確認してください

箱を開けたら、お買い上げの製品に合わせて、まず次の付属品が揃っているか確認してください。 不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 付属品



ミシンを足で操作するときに使用します。



### 糸こま押え

上糸をセットするときに使用します。糸こまの大 きさによって大/中/小を使い分けます。 購入時、糸こま押え(中)はミシンの糸たて棒にセッ トされています。



ドライバー

ミシン針を交換するときなどに使用します。



針板ドライバー 針板カバーを開閉するときに使用します。



はとめ穴パンチ はとめ穴をあけるときに使用します。



ミシンブラシ かまなどの細かい部分のほこりを取り除くときに 使用します。



糸こまネット 張りが強い糸をセットするときに使用します。



リッパー ぬい目をほどいたり、ボタン穴を切り開くときに 使用します。



はさみ 糸などを切ります。



### 押え

ぬい方に合った押えが用意されています。 詳細は、「押えを交換する」(→ P.49) で説明し ます。





たち目かがり押え<G>



片押え<l>



#### ジグザグ押え<J>

押え固定ピンが付いています。

※押え固定ピンは、厚い布地のぬい始めなど、段差があって布 地を送ることができないときに使用します。(→P.71) ※購入時は、ミシン本体の押えホルダーに取り付けられて

います。



ボタン付け押え<M>



模様ぬい押え<N>



まつりぬい押え<R>



ステッチガイド押え<P>



調節付き片押え





アップリケ押え

ピーシング押え





### キルター

ウォーキングフットや押えホルダーのキルター用の穴に差し込んで使用します。キルティングをするときに、ぬい目を等間隔にそろえてぬうことができます。



### **サイドカッター押え** 布端を切りながら、たち目かがりなどをするとき に使用します。



**ウォーキングフット** ビニールや皮など、すべりにくい布地をぬうとき に使用します。



**キルト押え** フリーモーションキルトをするときに使用します。



### ボビン

下糸を巻いて使用します。本製品純正のボビンが 4 個付属されています。そのうちの1 個は、購入 時にかまにセットされています。



### ミシン針 (HA × 1)

4 種類(計 6 本)の針が付属されています。糸の 太さや布地によって使い分けます。

> ●詳細は、「針の種類と使い分け」 (→ P.46)で説明します。



### 2 本針

2 色の糸を同時に使用して、並行に模様をぬうと きに使用します。



### ぬい糸

実用ぬい用のミシン糸 #60 白です。 ※ 刺しゅうには使用できません。



### 布地ブロード

薄地をぬうときの試しぬいに使用します。



### サンフェロン

フェルトに接着芯を貼ったものです。刺しゅうの 試しぬいに使用します。



### マイイラストシート

マイイラスト機能でオリジナル模様を作るときに 使用します。



**ワイドテーブル** 大きな作品をぬうときに、作業スペースを広げる ために使用します。



ひざで押えを上げ下げするときに使用します。ワ イドテーブルの裏面に取り付けて収納します。 ※購入時は、ワイドテーブルの裏面に取り付けら れています。



補助糸たて棒 2本針でぬうときに使用します。



### 付属品トレイ

ニーリフター

補助テーブル内にセットし、押え・リッパー・ ボビンを収納します。



補助テーブルを 開いて上から見た図

**付属品バック** 付属品を収納します。



### **取扱説明書** 本書です。大切に保管してください。



操作早見表 下糸・上糸のセットと刺しゅうの手順、模様のサ ンプルが確認できます。



### かんたん操作ガイド

下糸・上糸のセットが確認できます。



### 取扱説明 DVD

ミシンの基本的な使い方を DVD で紹介しています。



### 保証書

ミシンを修理するときなどに必要です。大切に保 管してください。

### 別売オプション

オプション品として次の製品を用意しています。お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」 (フリーダイヤル0120-340-233)にお問い合わせください。

### エクストラテーブル

大きなものをぬうときに、作業スペースを広げる ために使用します。(モデル:EXT1)



### ガイド付まつりぬい押え

ガイドを布端に合わせて調節し、一定の幅のぬい しろでぬうことができます。(モデル:F017N)



### ウィングニードル

針穴を大きく開けてレース風の飾り模様をぬうと きに使用します。(モデル:WN001)

# 

刺しゅう糸



ウルトラポス 39 色セット (モデル: ETS39) ウルトラポス 23 色セット (モデル: ETS23) ウルトラポス 22 色セット (モデル: ETS22) カントリー糸 40 色セット (モデル: CTS40) カントリー糸 21 色セット (モデル: CTS21) 刺しゅう専用下糸 500m 巻き (モデル: EBT01) 刺しゅう専用下糸 1300m 巻き (モデル: EBT02)

### 刺しゅう用接着芯

刺しゅうする布地の裏にアイロンで貼ります。 (モデル:BM3)



### 刺しゅう用水溶性シート

薄手の布地やタオルなどの起毛した布地に刺しゅうをするときに使用します。洗濯するとシートが 溶けます。(モデル:BM4)



## 刺しゅう枠・刺しゅうシート [LL]

縦 30 ×横 13cm までの範囲で刺しゅうができま す。組み合わせ模様や大きな模様を刺しゅうする ときに使用します。(モデル:EF85)



**刺しゅう枠・刺しゅうシート [S]** 小さい布地を張るときに使用します。縦2×横6cm までの刺しゅうができます。(モデル:EF82)



### 刺しゅうカード

刺しゅう模様が内蔵されているカードです。ミシ ン本体の刺しゅうカード差し込み口に差し込んで 使用します。テーマ別にいろいろなカードがあり ます。

※ 外国で販売されている刺しゅうカードは使用で きません。



### 別売刺しゅう機セット

次の部品が同梱されています。 (モデル:ES150)

### 刺しゅう機



USBケーブル



刺しゅう押え<Q>



刺しゅう枠・刺しゅうシート [L]



刺しゅう枠・刺しゅうシート [M]



取扱説明書



# 各部の名前とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、よく読んで名前を覚えておきましょう。

### 前面



糸案内板
 上糸を通すときに糸をかけます。

② 糸案内カバー 上糸を通すときに糸をかけます。

3 糸たて棒
 糸こまを差し込みます。

④ 下糸巻き案内
 下糸を巻くときに糸をかけます。

⑤ 上ふた 上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。

⑥ 下糸巻き装置 下糸をボビンに巻くときに使用します。

⑦液晶画面 選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。

⑧操作パネル 模様を選択したり、ミシンの使い方を確認したりします。 (→P.22)

③ ニーリフター差し込み口
 ニーリフターを差し込みます。

⑦ 刺しゅう機差し込み口 刺しゅう機のコネクターを差し込みます。 ※刺しゅう機はオプション品です。

① **押えレバー** 押えを上げ下げします。

⑦ 操作スイッチとスピードコントロールレバー ミシンをスタートさせるときや針を上げ下げするときなど、 ミシンのさまざまな操作に使用します。(→P.21)

(1) 補助テーブル 中に押えやボビンなどを収納します。そで口などの筒ものを ぬうときには取り外します。

④ 糸切り ぬい終わったときに、糸を引っかけて切ります。

(5) **糸通しレバー** 針穴に糸を通すときに使用します。

(1) てんびん確認窓 てんびんの位置を確認します。

### 針・押え部分



① ボタン穴かがりレバー ボタン穴かがりやかんどめをするときに使用します。

② **糸案内皿** 針穴に糸を通すときに糸をかけます。

③ 針棒糸かけ上糸をかけます。

金 針板
 まっすぐにぬうための目盛りが付いています。

⑤ 針板カバー かまの掃除をするときに取り外します。

⑥ 針板ふた下糸をセットするときに開けます。

⑦送り歯 ぬう方向に布地を送ります。

⑧押え 布地を押さえます。付属の押えの中からぬい方に合った押え を使用します。 ※付属の押えは、16種類です。

押えホルダー
 押えを取り付けます。

## 右側面・背面



① **ハンドル** ミシンの持ち運びに使用します。

② プーリー ぬい目を1針ずつ送ったり、針を上げ下げするときに手前に 回します。

③ **刺しゅうカード差し込み口** 別売りの刺しゅうカードを差し込みます。

④ USBポートコネクター USBケーブルを差し込み、パソコンに接続します。 ※USBケーブルは、オプション品です。

⑤ 換気口 モーターの換気用の穴です。ミシンを設置するときは、ここを ふさがないようにしてください。

⑥ 電源スイッチ 電源を入れるときと切るときに押します。

⑦ フットコントローラージャック フットコントローラーのプラグを差し込みます。

⑧ 電源コード 家庭用電源コンセント(AC100V)に接続します。

⑨ ドロップレバー送り歯を下げるときに使用します。

10 押え圧ダイヤル 押え圧を調節します。

## 操作スイッチ

操作スイッチで、ミシンの基本的な操作が簡単に行えます。



### ①スタート/ストップスイッチ 🛞

ミシンをスタートさせるときとストップさせるときに押します。ぬい始めとスイッチを押している間はゆっくりとぬいます。購入時は、針が下がった(布地に刺さった)状態でストップするように設定されています。詳細は、「ミシンをスタートさせる」(→P.57)で説明します。 スイッチはミシンの状態によって色が変わります。

- 緑:スタートできる状態のとき/縫製中
- 赤:スタートできない状態のとき
- 橙:下糸を巻いているとき/下糸巻き軸が右側に入っ ているとき

### ②返しぬいスイッチ 🔒

ぬい始めやぬい終わりの、返しぬいまたは止めぬいをす るときに押します。返しぬいの場合は、スイッチを押し ている間逆方向にぬいます。止めぬいの場合は、スイッ チを押したままにすると、同じ場所で3~5針重ねてぬっ て止まります。詳細は、「返しぬい/止めぬいをする」 (→P.60)で説明します。

### ③ 針上下スイッチ 🕘

針を上げ下げするときに押します。ぬい方向を変えると きや細かいところをぬうときに使用します。また、繰り 返し押すと、1針ずつぬうことができます。

### ④糸切りスイッチ 送

ぬい終わりに、上糸と下糸を自動的に切るときに押しま す。詳細は、「糸を切る」(→P.61)で説明します。

⑤ スピードコントロールレバー

ぬう速度を調節するときに使用します。左に動かすと遅 く、右に動かすと速くなります。



# 操作パネル

前面の操作パネルで、模様を選択したり設定したりすることができます。



#### ①液晶画面

選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。液晶画 面に表示されるキーを指で押して操作します。詳細は、「液晶 画面の操作」(→P.26)で説明します。

### ② 戻るキー 5

液晶画面の表示を1つ前に戻すときに押します。

### ③前ページキー く

液晶画面に表示されていない項目があるときに、前の画面 を表示します。

### ④次ページキー >

液晶画面に表示されていない項目があるときに、 次の画面を表示します。

### ⑤記憶キー 記憶

組み合わせ模様や文字模様をミシンに記憶させるときに押 します。

#### ⑥実用/文字模様キー <sup>実用</sup> <sup>実実機様</sup>

直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなどの実用 ぬいをするときや、文字やサテンステッチ、クロスステッチな どの模様をぬうときに押します。

### ⑦ 刺しゅうキー 刺しゅう

刺しゅうをするときに押します。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。

### 8 設定キー 設定

針停止位置やブザー音などの設定を変更するときに押しま す。

#### 使い方キー

ミシンの使い方を確認するときに押します。上糸セット・ 下糸巻き・下糸セット・針交換・刺しゅう機取り付け/取 り外し・刺しゅう枠取り付け/取り外し・刺しゅう押え取 り付け・押え交換についての簡単な説明が表示されます。



ここでは、ぬう前に必要な準備を説明します。

電源を入れましょう	24
液晶画面の操作	26
糸をセットしましょう	31
針を交換する	46
押えを交換する	49
筒ものや大きなものをぬう	52

# 電源を入れましょう

ミシンの電源を入れます。

### 電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説明します。



# 注意 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持っ て抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・ 感電の原因となります。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ 張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せた り、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電 源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お近くの 販売店または「お客様相談室(ミシン119番)| フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因となります。



ぬう前の準備

# 液晶画面の操作

ミシン本体前面の液晶画面には、選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。液晶画面下の 操作キーを押して表示を切り替えて、直接指で液晶画面に触れて操作します。操作キーについては、 「操作パネル」(→P.22)を参照してください。

### 液晶画面の見方

電源を入れると液晶画面が点灯し、次の実用模様の選択画面が表示されます。





● 機種によっては、電源を入れるとアニメーションが表示されます。アニメーションが表示されているときは、指で液 晶画面に触れると上記の画面が表示されます。

# ミシンの設定を確認・変更する

ミシンの機能やぬい方など、設定画面に表示される以下の項目を確認・変更することができます。操作の しかたは次ページで説明します。

項目	表示	内容	設定
針位置	‡₩	ミシンがストップしたときの針の停止位置を切り 替えます。	⊤ <b>Ţ₩Ĩ₩</b> ⊥
振幅 コントロール	,~~V₩	スピードコントロールレバーでジグザグの振り幅 を調節できるように設定します。(→P.112)	ON OFF
模様調整(たて)	‡∥	模様がくずれたときに、模様を上下方向に調整し ます。	-9 ~ +9
模様調整(よこ)	<b>+</b> →	模様がくずれたときに、模様を左右方向に調整し ます。	-9 ~ +9
糸色表示	E	刺しゅうの色替の糸色表示を切り替えます。 (→ P.163)	ブラザー刺しゅう糸番号/ カントリー糸番号/ ぬい時間/針数/糸色名
刺しゅう糸調子	-9	刺しゅうのときの糸調子を調節します。	-8 ~ +8
刺しゅう 最高速度	தி	刺しゅうのときの最高速度を切り替えます。	速く <mark>550 350</mark> ゆっくり
ブザー	<b>~</b> ]»)	操作音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。 (→ P.203)	ON OFF
オープニング画面	8	電源を入れたときのオープニング画面を表示する かしないかを設定します。 ● 設定できない機種もあります。	ON OFF
基線切り替え	2	電源を入れたときに自動的に選択される直線模様 を切り替えます。	左基線 👱 🖳 中基線
言語	<b>S</b> I	液晶画面に表示される言語を設定します。	日本語/ ENGLISH / DEUTSCH / FRANÇAIS / ITALIANO / NEDERLANDS / ESPAÑOL / PORTUGUÊS / OTHERS
画面調整	•	液晶画面の明るさを調整します。	明 🗕 🗭 暗
プロダクトNO.		ミシンのプロダクトナンバーを示します。	
バージョン	_	ミシンにインストールされているプログラムの バージョンを示します。	



● 上記の反転表示は購入時の初期設定です。



### ■オープニング画面 ON OFF 基 基線切り替え 🛄 🗵 🕄 🛛 日本語 🛛 🗣 🕨 < > 記憶 実用 文字模様 刺しゅう 設定 使い方 ● 画面調整 -+ < > 記憶 実用 刺しゅう 設定 ブロダクトNQ:\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* バージョン : 1.00

ON OFF

< > 記憶 実用 文字模様 刺しゅう 設定 使い方

### [例] 針位置を上に変更する場合



>

設定

記憶

記憶

押え交換

刺しゅう押え取り付け

設定

下糸セット

針交換



#### ぬう前の準備 ―





# 糸をセットしましょう

下糸用の糸を巻いたボビンをセットしたあと、上糸用の糸を通します。







糸を糸案内カバーの奥から手前へかけ ます。

引き出した糸がたるまないように右手で 糸を持ち、左手で糸案内カバーにかけま す。





糸案内板の下から上へ糸をかけます。



下糸巻き案内の凸部の下から糸をかけ て、皿の下に通します。



糸が皿の下に確実に通っていることを確 認してください。





### 11 糸を時計まわりに4~5回ボビンに巻 きつけます。

引き出した糸がたるまないように左手で 持ち、右手で糸端をボビンに巻きつけま す。





糸は、必ずピンと張った状態 で時計回りに巻いてくださ い。逆方向へ巻くと、下糸巻 き軸に糸が巻きつくことが あります。






35



④ 図のように左手で糸端を持ち、右手で ボビン近くの糸をゆっくりと時計回り に回して、からまった糸をほどきま す。



5 下糸巻きをやり直します。
 ※ お願い
 ● 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(→P.33)



ぬう前の準備





ぬう前の準備



10 矢印のように、ミゾに沿って糸を通し

引き出した糸をたるまないように右手で 持ち、左手で糸を通します。



- 押えを上げると上糸シャッターが開きます。上糸 を通すときや通した上糸を外すときは、必ず押 えを上げてください。
- てんびん確認窓から、糸が確実にてんびんに 通っていることを確認してください。



## 11 針棒糸かけに糸をかけます。

左手で糸を押さえ、右手で糸端を持って









ぬう前の準備







## 針の種類と使い分け

ミシン針は、布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選択し てください。

布地の特徴・種類		<ul><li>ミシン糸</li><li>種類 太さ</li></ul>		針の種類
普通地	ブロード	綿糸	60~90	11~14
	タフタ	合繊糸		
	フラノ ギャバシン	絹糸	50	
薄地	ローン	綿糸	60~90	9~11
	ジョーゼット	合繊糸		
	ポーラ	絹糸	50	
厚地	デニム	綿糸	30	16
			50	14~16
	コーデュロイ	合繊糸	50-60	
	ツィード	絹糸	50.000	
のびる布地	ジャージ		50~60	HG針ニット用 11~14
	トリコット	_ッド用木		
ほつれやすい布地		綿糸	50~90	9~14
		合繊糸		
		絹糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸・絹糸	30	16
			50~60	11~14

よお願い

● 20 番以下の太い糸は使用しないでください。 故障の原因となります。

🕟 お知らせ

 糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きい ほど太くなります。

#### HG 針ニット用

伸縮性のある布地や目がとびやすい布地を仕上り 良くぬい上げることができます。 ブラザー純正「HG 針ニット用 #11(金色)」を 推奨します。

#### ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず 14~16番の針を使用します。

#### 刺しゅう用の針

家庭用ミシン針 (HA × 1)の11番を使用します。 デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、家庭 用ミシン針 (HA × 1)の14番を使用します。

## 1 注意

 $\triangle$ 

布地・糸・針の組み合わせが 適切でない場合、ぬい目が ふぞろいになり、ぬいじわや 目とびの原因となります。特 に、厚い布地(デニム等)を 細い針(9~11番)でぬう と、針が折れたり曲がったり するおそれがあります。

#### ■ 正しい針の見分け方

曲がった針は、使用中に折れるおそれがあり大 変危険です。使用する前に、針の平らな面を平 らな板などに合わせて確認し、すき間が平行に ならない針は使用しないでください。



#### 針を交換する

「正しい針の見分け方」で確認した正しい針と、付属のドライバーを用意します。





針のとめネジをしめます。

7

左手で針を支え、右手でドライバーを奥 に回します。



2本針を使用する場合も、同様に取り 付けます。





# 押えを交換する





1/71



と、正しい糸調子にならないことがあります。

ぬう前の準備

押えを交換する

# 筒ものや大きなものをぬう

筒ものや大きなものをぬうときは、フリーアームにしたり、エクストラテーブルやワイドテーブルを使用した りすると便利です。



ぬう前の準備

筒ものや大きなものをぬう





5 ぬい終わったら、ワイドテーブルを左 へ引いて取り外し、補助テーブルをも とに戻します。



6 ワイドテーブルを裏返し、4本の脚を 収納します。



⊳ お知らせ

 ワイドテーブルは、脚を収納した状態でハード ケースの前面に引っかけて保管することがで きます。





ここでは、基本のぬい方と上手にぬうコツなどを説明します。

ぬってみましょう	56
ぬい目を調節する	63
便利な機能	66
上手にぬうコツ	70

# ぬってみましょう

ここでは、基本のぬい方を説明します。



## ソーイングの手順

ミシンをかけるときの基本の手順は次のとおりです。







準備ができたらミシンをスタートさせます。操作 スイッチの 🛞 (スタート/ストップスイッチ) または付属のフットコントローラーで操作しま す。



ぬってみましょう

操作スイッチを使う 操作スイッチの (の) (スタート/ストップス イッチ)を指で押して操作します。

 スピードコントロールレバーを左右に 動かして、速度を調節します。

左に動かすと遅く、右に動かすと速くなります。







> ミシンがスタートします。

ぬい始めと 🛞 (スタート/ストップ スイッチ)を押している間は、ゆっく り進みます。



ぬい終わりの位置まできたら、 (ス タート/ストップスイッチ) を 1 回押 します。







#### ぬい方の基本 一



<ul> <li>フ 3~5針ほどぬったら、① (返しぬい スイッチ)から手を離します。</li> <li>▶ ミシンがストップします。</li> </ul>	<ul> <li>● 返しぬい/止めぬいを自動で行うこともできます。「自動で返しぬい/止めぬいをする」 (→P.66)を参照してください。</li> </ul>
8 (スタート/ストップスイッチ)を 押すか、またはフットコントローラー を踏みます。	糸を切る
(スタート/ストップスイッチ) の場合は、スイッチを押したままにす ると、ゆっくりと進みます。	ぬい終わったら、糸を切ります。操作スイッチの ②(糸切りスイッチ)またはミシン本体左側面の 糸切りを使用します。
▶ 通常の向きに針が進みます。	■ 操作スイッチを使う
9 ぬい終わりの位置まできたら、ミシン をストップさせます。	<ol> <li>はい終わりの位置で、⊗(糸切りスイッチ)を1回押します。</li> </ol>
<ul> <li>(スタート/ストップスイッチ)を押すか、フットコントローラーから足を放します。</li> <li>3 押す (2) (2) 1 押す</li> <li>2 押す</li> </ul>	<ul> <li>※が切れ、針が上に上がります。</li> <li>押えレバーを上げて、布地を取り出します。</li> </ul>
4 <sub>押す</sub> (i) (i) 5 <sub>押す</sub> 4 <sub>押す</sub> (i) (i) 6 <sub>押す</sub> あい終わり 6 <sub>押す</sub> ■ 止めぬいをする 1 □ · 3 □ · 7 ■ いめの模样で (i) (i反しめい)7	一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一
<ul> <li>ビノビノを押すと、止めぬいになります。スイッチを押したままにすると、同じ場所で3~5 針重ねてぬって止まります。</li> <li>返しぬい 止めぬい</li> </ul>	<ul> <li>注意</li> <li>糸を切ったあとに、③(糸切りスイッチ)を押さないでください。針折れや糸がらみ、故障の原因となります。</li> <li>布地が押えの下にないときや、ミシンが動いているときは③(糸切りスイッチ)を押さないでください。故障の原因となります。</li> </ul>



ゆい終わりに自動的に糸を切るように設定することもできます。「自動で糸を切る」(→P.67)で説明します。

#### ■ 糸切りを使う

ナイロン透明糸、メタリック糸などの特殊な糸 は、ミシン本体左側面の糸切りで糸を切ります。

ぬい終わったら、ミシンをストップさせ、①(針上下スイッチ)を1回押して、針を上げます。







3 布地を左へ引き、ミシン本体左側面の 糸切りに上糸と下糸を引っかけて切り ます。



# ぬい目を調節する

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、糸調子(上糸と下糸の強さのバランス)は、あらかじめ模様ごとの適切な数値に設定されています。必要に応じて設定を変更するときは、液晶画面の w= を押したあと、次の説明に従って操作してください。



## ⊳ お知らせ

- 思い通りに糸調子を調節できないときは、「困ったとき」(→P.188)を参照してください。
- 模様によって、変更できない設定もあります。詳細は、操作早見表の「模様一覧」を参照してください。
- 設定を変更したあとに、ミシンの電源を切ったり他の模様を選択したりすると、もとの数値に戻ります。
   設定を記憶させておきたいときは、「模様の設定を記憶させる」(→P.68)を参照してください。



#### ぬい目の長さを調節する

ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすることが できます。



ぬい目の長さの - を押すごとに、ぬい目が細かくなります。

# -

ぬい目の長さの → を押すごとに、ぬい目があらくなります。



リセットを押すと、もとの数値に戻ります。



## 糸調子を調節する

糸調子が合わないときや、特殊な糸や素材を使用するときは、上糸の調子を調節します。



#### 正しい糸調子

上糸と下糸が布地の中央でまじわります。布地の 表には上糸、裏には下糸のみが見えます。



上糸が強いとき

🔆 お願い

 ● 下糸が正しくセットされていないと、上糸が強く なることがあります。上糸が強いときは、下糸の セットを再度行ってください。「下糸をセットする」
 (→P.37)を参照してください。

布地の表に下糸が見えます。 ━ を押して、上糸を 弱くします。



## 上糸が弱いとき



布地の裏に上糸が見えます。 → を押して、上糸を 強くします。



リセットを押すと、もとの数値に戻ります。

ぬい目を調節する

# 便利な機能

ここでは、役に立つ便利な機能を説明します。

自動で返しぬい/止めぬいをする

ぬい始めとぬい終わりに、自動で返しぬいまたは止め ぬいをするように設定します。

詳細は、操作早見表の「模様一覧」を参照してください。

電源を入れます。





2 模様を選択します。

● 模様の選び方は、「模様を選ぶ」
 (→ P.77)を参照してください。



ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬいが含まれている模様を選択したときは、この操作は必要ありません。



になり、自動返しぬい/止めぬいが設定 されます。





● 自動返しぬい/止めぬいを解除するときは、
 ● を押します。

● 電源を切ると、自動返しぬい/止めぬいの設定 は解除されます。 4 市地をセットし、 (※) (スタート/スト ップスイッチ)を1回押します。



返しぬいまたは止めぬいをしてから、ぬい始めます。

5 ぬい終わりの位置まできたら、① (返しぬいスイッチ)を1回押します。 ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬ

いが含まれている模様を選択したときは、この操作は必要ありません。



 返しぬいまたは止めぬいをしてから、ミシンが ストップします。

⊳ お知らせ

ぬっている途中で、
 プスイッチ)を押したときは、自動で返しぬい/止めぬいはしません。ぬい終わりで
 (返しぬいスイッチ)を押してください。

 $\widehat{(1)}$ 

## 自動で糸を切る

ぬい終わりに自動で糸を切るように設定します。これを 「プログラム糸切り」といいます。

プログラム糸切りを設定すると、自動返しぬい/止め ぬいも一緒に設定されます。



▶ 液晶画面が点灯します。

- 2 模様を選択します。
  - 模様の選び方は、「模様を選ぶ」
     (→ P.77)を参照してください。



#### 🔀 を押します。



こなり、プログラム糸切りと自動返しめい/止めぬいが設定されます。



# 🍃 お知らせ

- プログラム糸切りを解除するときは、 **≫** を 押します。
- 👍 布地をセットし、 🕮 (スタート/ ストップスイッチ)を1回押します。  $\square$ スタート/ストップスイッチ ▶ 返しぬいまたは止めぬいをしてから、ぬい始 めます。 5 ぬい終わりの位置まできたら、① (返しぬいスイッチ)を1回押しま す。 ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬ いが含まれている模様を選択したとき は、この操作は必要ありません。 ▶ 返しぬいまたは止めぬいをしてから、自動で糸 を切ります。  $\widehat{(\mathbf{h})}$ -- ここで糸が切れる お知らせ ● ぬっている途中で、(祭) (スタート/ストップ
  - ぬっている途中で、 (※) (スタート/ストップ スイッチ)を押したときは、プログラム糸切 りは行われません。ぬい終わりで (♪) (返し ぬいスイッチ)を押してください。
  - 電源を切ると、プログラム糸切りの設定は解除 されます。





便利な機能

# 上手にぬうコツ

ここでは、上手にぬうためのコツを説明します。ソーイングをするときの参考にしてください。

#### 試しぬいをする

本製品は、模様を選択すると、自動的に適切な模 様の幅と長さが設定されるようになっています。

しかし、布地の種類やぬい方によっては必ずしも 思い通りにならないことがあるので、試しぬいを するようにしましょう。

試しぬいは、実際に使用する布地のはぎれと糸を 使用して、糸調子や模様の幅・長さを確認しま す。ぬい方や、布地を何枚重ねてぬうかによって もぬった結果は異なるので、実際にぬうものと同 じ状態で試しぬいをします。

## ぬう方向を変える



このとき、針が下がった(布地に刺さ った)状態にしておきます。もし針が イッチ)を押して針を下げます。

#### 2 押えレバーを上げ、布地を持って回転 させます。

針位置を基点に回転させます。



カーブをぬう

途中でミシンをストップさせながら、少しずつ向 きを変えてぬいます。「ぬいしろの幅をそろえる」 (→P.73)を参考にして、ぬいしろと平行にな るようにぬいます。



ジグザグ模様をぬうときは、ぬい目の長さを短めにす るときれいに仕上がります。



#### 押え圧を調節する

押え圧(押えが布地を押さえる強さ)を調節すること ができます。


ミシン本体背面の押え圧ダイヤルを回して、押え圧を調節します。	1 押えレバーを上げます。
押え圧は1~4の4段階で調節します。 数字が小さいほど弱く、大きいほど強く なります。	2 ぬい始めの位置を合わせて、布地をお きます。
<ul> <li>3 ぬい終わったら、ダイヤルを3(標準)に戻します。</li> </ul>	③ ジグザグ押え <j> を水平に保持して 左側の黒いボタンを押したまま、押え レバーを下げます。</j>
厚い布地をぬう	▶ 押えが水平になり、布地が送られるようになります。
<ul> <li>押えの下に布地が入らないとき 押えレバーをさらに上に上げると、押えがもう 一段階上がります。         </li> <li>のののののののでは、このののののでは、「日本ののののののでは、「日本ののののののでは、「日本ののののののでは、「日本のののののののでは、「日本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	・ めい進めると、押えはもとに戻ります。         ・ めい進めると、押えはもとに戻ります。         ・ 方言         ・ 合 のmm以上の厚物をぬったり、 無理に布地を押しこんだりす ると、針が折れたり曲がったり するおそれがあります。



ぬい方の基本
上手にぬうコツ





### 薄い布地をぬう

薄い布地をぬうと、ぬい目がつれてしまったり、布がうまく送れないことがあります。

その場合は布地の下にハトロン紙などの薄い紙を敷いて、布地と一緒にぬいます。ぬい終わったら、紙をや ぶって取り除きます。



## 伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないように ぬいます。



また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用すると、きれいにぬうことができます。

### ビニールや皮をぬう

ビニールコーティングや皮革など、押えに貼り付いてぬいにくい素材には、スムースフットを使用します。



上手にぬうコッ

## ぬいしろの幅をそろえる

布端と平行に一定の幅でぬうときは、ぬいしろの端が 右側になるようにぬい始め、押えの右端か針板の目盛 りを基準にしてぬいます。

#### ■ 押えを基準にする

押えの右端と布端が一定の幅で平行になるよう にぬいます。



#### ■ 針板を基準にする

針板には、直線 [左] の針位置からの長さが表示されています。針板に刻まれている目盛りと布端を合わせてぬいます。上側の目盛りは1/8 インチ(約 3mm)間隔、下側の目盛りは5mm 間隔になっています。



#### ■ ステッチガイド押えを使用する

ステッチガイド押えには、2mm 間隔に目盛り が付いています。布端を目盛りに合わせてぬう と、ぬいしろの幅をそろえてぬうことができま す。



#### ■ ガイド付まつりぬい押えを使用する

別売りのガイド付まつりぬい押えでは、ガイド の幅を変更して布端をガイドに合わせてぬうと、 ぬいしろの幅をそろえてぬうことができます。



## ニーリフターを使う

ニーリフターを使用すると、ひざで押えを上げ下げす ることができます。キルトなどをぬうときに、両手があ き作業がしやすくなります。

※購入時は、ワイドテーブルの裏面に取り付けられて います。

## ニーリフター差し込み口にニーリフター を差し込みます。

ニーリフターのタブを差し込み口のミゾ に合わせて、奥までしっかりと差し込み ます。





● ニーリフターは差し込み口の奥までしっかりと差し込んでください。正しく差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

2 押えを上げるときは、ニーリフターを ひざで右に押します。押えを下げると きは、ニーリフターからひざを放しま す。







ニーリフターをひざで押した まま、ミシンをスタートさせ ないでください。針折れや糸 調子不良の原因となります。



ここでは、いろいろなぬい方とその使い方を説明します。

ぬい方を選びましょう	
ぬいしろを始末する	
地ぬいをする	
すそ上げをする	
ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける	
ファスナーを付ける	
ファスナーを付ける/パイピングする	
伸びる布地やゴムテープをぬう	
アップリケ/パッチワーク/キルトをぬう	
丈夫にしたいところをぬう	
はとめ穴を作る	
横送り(直線・ジグザグ)	
飾りぬいをする	
いろいろな模様をぬう	
オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)	

# ぬい方を選びましょう

ぬう模様を選択します。

#### 模様の種類

模様は、実用模様・飾り模様・サテンステッチ・ 実用飾り模様・クロスステッチ・飾りサテン・ア ルファベット3種類・ひらがな/カタカナ・マイイ ラスト模様の11グループの模様があります。 模様の種類は、操作早見表の「模様一覧」を参照 してください。

[素] (実用/文字模様キー)を押すと、次の画面 が表示されます。



#### ① 実用模様

直線やたち目かがり、ボタン穴かがりなど、 71 種類の実用模様があります。

#### ② マイイラスト模様

マイイラスト機能でオリジナル模様を作ること ができます。「オリジナル模様を作る(マイイ ラスト機能)」(→ P.141)を参照してくださ い。

③ アルファベット(ゴシック体)

ゴシック体のアルファベットや記号、数字など 97 文字あります。

- ④ アルファベット(筆記体)
   筆記体のアルファベットや記号、数字など97
   文字あります。
- ⑤ アルファベット(アウトライン) アウトライン(白抜き文字)のアルファベット や記号、数字など 97 文字あります。
- ⑥ ひらがな/カタカナ ひらがなやカタカナ、記号、数字、漢字など 204 文字あります。

#### ⑦ 飾り模様

葉や花、ハートなど、31 種類の飾り模様があ ります。

- ③ サテンステッチ
   18 種類のサテンステッチがあります。
- ③ 実用飾り模様 模様を組み合わせることができる 39 種類の実 用模様があります。
- ⑩ 飾りサテン
   10 種類の飾りサテンがあります。

## クロスステッチ 15 括約のクロフフニッズがたら

15 種類のクロスステッチがあります。

## ② ミシンに記憶させた模様の呼び出し

よく使用する文字の組み合わせなどの模様をミ シンに記憶させて、あとで呼び出してぬうこと ができます。10 組までの模様を記憶させるこ とができます。記憶のさせ方と呼び出し方につ いては、「模様を記憶させる」(→ P.137)を 参照してください。

#### 模様を選ぶ 電源を入れます。 液晶画面を操作して模様を選択します。 電源を入れたときは、自動的に直線〔左〕が選択 されています。直線[中]が選択されるように設 定することもできます。詳細は、「ミシンの設定 を確認・変更する| (→P.27) を参照してく ▶ 直線[左]が選択されます。 ださい。 お知らせ 使用する模様に合った押えを用意しま ● 液晶画面にアニメーションが表示されているとき す。 は、指で液晶画面に触れてください。 ● 電源を入れると、実用模様の選択画面が表示さ ● 操作早見表の「模様一覧」を参照してく れます。実用模様を選択するときは6へ進んで ださい。 ください。 押えを取り付けます。 操作パネルの [素] (実用/文字模様 4 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 キー)を押します。 してください。 <u>\*∩</u>≥ JŪ お知らせ 44 $|\Delta|\Delta|$ 1/71 ● 購入時は、ジグザグ押え<J>が取り付けられて ₩ ☆(0.0;;;;2.5;≊\*4.0 います。 -< > 記憶 刺しゅう 設定 注意 模様に合った押えを使用して 模様グループの選択画面が表示されます。 ください。他の押えを使用す 5 模様グループを選択します。 ると、針が押えに当たり、折 れたり曲がったりするおそれ [例] 飾り模様を選択する場合 があります。 æ a b ▶ 模様の選択画面が表示されます。

#### いろいろなぬい方





MBUS MNOP Stuv Wiii Aat	+ 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10
	> 記憶
実用 文字模様 刺しゆう	設定使い方

■ ひらがな/カタカナを選ぶ

 【模様を選ぶ】(→ P.77)の1~
 (4) に従って、模様グループの選択画 面を表示させます。

2 あい を押します。

I≨Λ	AB	4	
	<i>4</i> 3	1	X
20	あい	[\$	Ð

## 3 文字を選択します。

行を選択してから文字を選択します。

フを押すと、ひらがな/カタカナが切
り替わります。



> お知らせ

- 誤って文字を選択したときは、削除 を押して文字を消去してから正しい文字を選択します。
- 文字と文字の間にスペースを入れたいときは、 2010 を押します。 > (次ページキー)を押して 2010 を表示させ、 2010 を押してください。
- 確認 を押すと、選択した模様を確認することができます。

#### [例] 「一年かとう」を選択する場合





# ぬいしろを始末する

裁断した布端がほつれないように、たち目かがりをします。たち目かがりに使用できる模様は、全部で15模様あります。使用する押えごとにぬい方を説明します。

## たち目かがり押え<G>を使ったたち目かがり

次の3模様を選択したときは、たち目かがり押え<G>を使用します。

47 Hz	·##+#	用注		。り幅	ぬい	目の長さ	+===
白柳			自動	手動	自動	手動	ያሞሌ
		普通地・薄地のほつれ止め	3.5	25.50	2.0		
たち目かがり	12 <b>XX</b>	厚地・ほつれやすい布地のほつれ止め	5.0	3.5~5.0	2.5	1.0~4.0	G



注意

1

#### ジグザグ押え<J>を使ったたち目かがり

次の7模様を選択したときは、ジグザグ押え<J>を使用します。

名称	模様	用途	」 自動	<b>辰り幅</b> │ 手動	ぬい 自動	目の長さ 手動	押え
ジグザグ[中]	7	通常のほつれ止め(中基線/返しぬい)	25	0.0~7.0	1.4	0.0~4.0	
ジグザグ[右]	8 🔨	通常のほつれ止め(右基線/止めぬい)	3.0	2.5~5.0	1.4	0.3~4.0	
2点ジグザグ	9	<b>原地、体バス左地のはつわいめ</b>		150.70	10	0.25.4.0	
3点ジグザグ	10	1字元・山口 の11元の つイ (工の)	EO	1.5~7.0	1.0	0.2. 94.0	J
	14	伸びる布地のほつれ止め	5.0		0.5	05 40	
たち目かがり	15	厚地・伸びる布地のほつれ止め		0.0~7.0	2.0	0.3~4.0	
	<sup>16</sup>	伸びる布地のほつれ止め	4.0		4.0	1.0~4.0	

<u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。





## サイドカッター押え<S>を使ったたち目かがり

サイドカッター押え<S>を使用して、布端を切りながらぬいしろを始末することができます。液晶画面で模様に 「S」と表示されている次の5模様から選択します。

名称	模様	用途	り 目動	最り幅 手動	ぬい 自動	目の長さ 手動	押え					
たち目かがり	63 <b>.</b>	布地を切りながら直線ぬい	0.0	0.0~2.5	2.5	0.2~5.0						
	64	布地を切りながらジグザグ	25		05.50			25-50		1.4	0.0~4.0	
	<sup>65</sup> 🔀	布地を切りながら薄地・普通地のほつれ止め	3.0	3.5 3.5~5.0					2.0		S	
	<sup>66</sup>	布地を切りながら厚地のほつれ止め	3.5~5.0		3.5~5.0	0.5	1.0~4.0					
		67 日 布地を切りながら厚地のほつれ止め	0.0		2.0							

#### <u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタート/ストップ スイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。



● サイドカッター押えを使用するときは、手で針に糸を通すか(→P.42)、サイドカッター押えを取り付ける前に糸通し装置で糸を通してください。

押えを取り外します。

注意

- ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。
- 2 サイドカッター押え<S>の作動レバー のふたまた部分で、針のとめネジの棒 を後ろからはさみます。



3 サイドカッター押え<S>のピンと押え ホルダーのミゾが合う位置にサイドカ ッター押え<S>を置き、押えレバーを ゆっくり下げます。



▶ サイドカッター押え<S>が取り付けられます。

4 押えレバーを上げて、サイドカッター 押え<S>が取り付けられていることを 確認します。 ぬいしろを始末する



ガイドプレート

# 地ぬいをする

々批	措垟	n te		辰り幅	ぬい	目の長さ	−−−			
	侯僚	用壓	自動	手動	自動	手動	ያቸሌ			
しつけぬい	6   	仮止め			20	5~30				
古·伯 [十]		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(左基線/ 返しぬい)	0.0 0.0~7.0 3.5	0.0	0.0	0.0	0.0			
直線した」	2	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(左基線/ 止めぬい)		0.0~7.0	0.5	0.2~5.0	J			
直線[中]	3 =	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(中基線/ 返しぬい)			2.0					
三重ぬい	4	ぬい目を丈夫にしたいとき、伸びる布地のとき	0.0	0.0		1.5~4.0				

基本となる直線ぬいをします。直線ぬいは、次の5模様から選択します。

1 注意

<u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。

## しつけぬい

5mmの長さのぬい目でしつけぬいをします。

- ジグザグ押え<J>を取り付けます。
  - ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。



## 2 模様 🖞 を選択します。

 ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。



## **3** ミシンをスタートさせます。

●「ミシンをスタートさせる」(→ P.57) を参照してください。

#### いろいろなぬい方



86

# すそ上げをする

名称	模様	用途	り 目動	最り幅 「手動」	ぬい 自動	目の長さ 手動	押え
キーりかい	17	普通地のまつりぬい	0.0 3⊷~→3		2.0	10-25	в
まつりぬい	18	伸びる布地のまつりぬい			2.0	1.0~3.5	К
▲ 注意							
● 押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタ							

ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動

スカートやズボンのすそをまつります。まつりぬいは、次の2模様から選択します。

してケガの原因となります。

次の手順でまつりぬいをします。





10 押えのガイドと布地の折り山が合うよ うに布地をセットし、押えを下げま す。







針落ち位置を変更するときは、針を上げ てからジグザグの振り幅を変更します。



#### ■ 針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。

振り幅の ● を押して針位置を右に動かし、針 が折り山に少しかかるように調節します。



#### ■ 針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。 振り幅の ● を押して針位置を左に動かし、針 が折り山に少しかかるように調節します。 **厚い布地** 



12 折り山に押えのガイドを沿わせてぬい ます。 13 しつけをほどき、布地を表に返します。

 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■

# ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける

ボタン穴を作ったり、ボタンをぬい付けたりします。ボタン穴は、用途に合わせて次の10模様から選択します。

名称	模様	用途		辰り幅 三動	ぬい 自動	目の長さ 王 <b>動</b>	押え															
	<sup>48</sup> 🚺	薄地・普通地のねむり穴、横穴		J 34/		3 34/																
	<sup>49</sup> <b>()</b>	力がかかるところの横穴	50	20- 50	0.4	0.0-1.0																
	50 🗍	厚地の横穴	5.0	3.0~5.0	0.4	0.2~1.0																
	51	張りのある素材の両止め用																				
	52	伸びる布地・編み地用	60	20-60	1.0	0.5~2.0	۸															
פימימארע עאר	53	伸びる布地用	0.0	3.0**0.0	1.5	1.0~3.0	A															
	54	玉ぶち穴かがり(バウンドボタンホール)	5.0	0.0~6.0	2.0	0.2~4.0																
	55 🚺	厚地・毛足の長い布地のはとめ穴																				
	56	普通地・厚地のはとめ穴	7.0	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0																
	57	厚地・毛足の長い布地の横穴																				
ボタン付け	61 🖸	ボタン付け	3.5	2.5~4.5	_	_	М															

## 

## ボタン穴かがりをする

「ボタンの直径+厚み」が約28mm以下のボタン穴を作ることができます。 ボタン穴かがりは、次の順で押えの手前から後ろに向かってぬっていきます。



● ボタン穴かがりをするときは、ぬい目の長さや振り幅を確認するため、必ず試しぬいをしましょう。









- ボタン穴かがりレバーをもとに戻します。
- 0 ぬった部分を切らないように、かんぬき止めの内側にまち針を刺します。



11 付属のリッパーでボタン穴を切り開き ます。



はとめ穴の場合は、付属のはとめ穴パ ンチで穴をあけてから、リッパーで切 り開きます。



 はとめ穴パンチを使用するときは、布地の下に厚 紙などを敷いてください。

## 注意 リッパーで穴をあける方向 に、手や指を置かないでくだ さい。すべったときにケガを するおそれがあります。

93

#### いろいろなぬい方





#### いろいろなぬい方



# ファスナーを付ける

ファスナーをぬい付けます。



ファスナーの付け方によってぬい方が異なります。ここでは、つき合わせと片返しの場合のぬい方を説明します。





# ファスナーを付ける

### 片返し

布地の片側にステッチが入ります。脇ファスナーや後ろファスナーのときに使用します。



ここでは、脇ファスナーの場合を例に説明します。



 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

()0	
	F



布地は中表にし、あき止まりは返しぬい をします。

- ●「地ぬいをする」(→ P.85)を参照してください。
- 3 ファスナーを付ける部分のでき上がり 線にしつけをします。



4 ぬいしろを割り、裏からアイロンをか けます。





右側(ステッチが入らない方)のぬい しろを3mm出してアイロンをかけま す。



Gmm出した折り山とファスナーのむ
 しの端を合わせて、しつけまたはまち
 針で留めます。





9 3mm出した折り山部分を、あき止まりの方からぬいます。



- ぬう際には、ファスナーに針 が当たらないように注意し てください。針が折れたり曲 がったりするおそれがあり ます。
- 10 残り5cmほどまでぬったらミシンをス トップさせ、針を下げたまま押えを上 げます。
  - ファスナーを開いて続きをぬいます。





- 15 残り5cmほどまでぬったらミシンをス トップさせ、針を下げたまま押えを上 げます。
- 16 でき上がり線のしつけをほどいてファ スナーを開き、続きをぬいます。



1

# ファスナーを付ける/パイピングする

ファスナーをぬい付けたり、パイピングしたりします。

47 Xr	+#+#	<b>—</b> •	振り幅		ぬい目の長さ		
白砂			自動	手動	自動	手動	ያቸሌ
直線[左]		ファスナー付け おとしミシンやパイピング	0.0	0.0~7.0	2.5	0.2~5.0	

注意 ● <u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート∕ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。

ファスナー付けやパイピングには、いろいろな方法があります。ここでは、調節付き片押えを使用した、つき 合わせとパイピングの方法を説明します。





# 伸びる布地やゴムテープをぬう

伸びる布地をぬったり、ゴムテープをぬい付けたりします。

夕称	増烊	田淦	振り幅		ぬい目の長さ		畑マ
12170	175148			手動	自動	手動	17.2
伸縮ぬい	544	伸びる布地	1.0	1.0~3.0	2.5	1.0~4.0	
2点ジグザグ	9		FO	15 70			
3点ジグザグ	10		5.0	1.5~7.0	1.0	0.2~4.0	0
ゴムひもつけ	34	伸びる布地のゴムテープ付け	4.0	0.0~7.0			

#### 1 注意



<u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。

#### 伸縮ぬい



 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

()0	



 ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。

ŗ	-2-2	-2-2	-2-3	rr"	]۴	28
 !	ŀ	!		4	Τ	D [P
Ľ	<u>li</u>	Ľ	<u>    </u>	4	<u> </u>	5/71 <u>5</u> /71
₩\$	<u>3</u> %	<u>%</u> 1	.0"	<u>_</u> 2.	5*	≈4.0

3 布地を伸ばさないようにぬいます。



## ゴムテープ付け

そで口やウエストなどにゴムテープをぬい付ける場 合、ゴムテープが縮んでいる状態ができ上がり寸法に なります。必要な長さのゴムテープを用意します。

まち針で布地の裏側にゴムテープを留 めます。

> 布地とゴムテープが均等になるように数 か所留めます。





2 ジグザグ押え<J>を取り付けます。

 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。





模様を選択します。

 ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。

2点ジグザグ



ゴムひもつけ



Δ ゴムテープが布地と同じ長さになるよ うに伸ばしながらぬいます。

> 左手で後ろ側の布地を引っ張り、右手で 押えに一番近いまち針のところを引っ張 ります。







注意

1

ぬう際には、まち針などが針 に当たらないように注意し てください。針が折れたり曲 がったりするおそれがあり ます。

# アップリケ/パッチワーク/キルトをぬう

アップリケやパッチワーク、キルトをぬうときに使用する模様について説明します。 キルトをぬうときは、フットコントローラーやニーリフターを使用すると便利です。フットコント ローラーとニーリフターの使い方については、「フットコントローラーを使う」(→P.58)、 「ニーリフターを使う」(→P.73)を参照してください。

名称	模様	用途		振り幅 白動 手動		ぬい目の長さ 自動 手動	
ジグザグ	7	アップリケ布のぬい付け(中基線/返しぬい)					
	24	アップリケキルト、フリーモーションキルト、 サテンぬい	3.5	0.0~7.0	1.4	0.0~4.0	
アップリケ	<sup>19</sup>	アップリケ布のぬい付け		2.5~5.0	2.5	1.6~4.0	
	25	アップリケ、バインディング	1.5	0.5~5.0	1.2	1.0~4.0	
ピーシング直線	21	ピーシング用直線 (押え右端から7mmのぬいしろ)	5.0		1.6	0.2~5.0	J
	22	ピーシング用直線 (押え左端から7mmのぬいしろ)	2.0	0.0~7.0			
つき合わせ	28 11		4.0		1.2	0.2~4.0	
	<sup>29</sup>	パッチワーク	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~4.0	
	30 <mark>/ /</mark>			1	1.2	0.2~4.0	
手ぬい風直線	23 <b>  </b>	手ぬい風キルト直線	0.0	0.0~7.0	2.5	10.40	
キルティング模様	26	キルトの背景ぬい	7.0	1.0~7.0	1.6	1.0~4.0	

#### ▲ 注意

0

<u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。



● 液晶画面に「Q」と表示されている模様はキルティング用、「P」はピーシング用の模様です。






1/8インチ (約3.2mm)

5 ぬい始めます。

6 押えの先端の印が布地の手前の端まで きたら、ミシンをストップさせます。





注意

ネジは付属のドライバーで 確実にしめてください。ネジ のしめ方がゆるいと、針が押 えに当たり、折れたり曲がっ たりするおそれがあります。
必ず、ぬう前にプーリーをゆ っくりと手前に回し、針が押 えに当たらないことを確認 してください。針が折れたり 曲がったりするおそれがあり ます。

- 5 模様を選択します。
  - ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。
- 6 押えの両側に手を置き、布地をしっか りと張ってぬいます。



# ※ お願い

- ウォーキングフットを使用するときは、手で針に糸を通すか、または糸通しレバーで糸を通した後に、 ウォーキングフットを取り付けてください。
- ウォーキングフットを使用するときは、速さをゆっくり~中速でぬってください。
- キルティングをするときは、14番の針を使用して ください。







# 丈夫にしたいところをぬう

そでぐりや股ぐりなどのぬい目を丈夫にしたり、ポケットロなどのあき止まり部分を補強するときに 使用します。

名称	模様	用途	<u></u>	設幅	ぬい	目の長さ	押え
			目動		目動		
三重ぬい	4	そでや股下などのぬい目を丈夫にする	0.0	0.0~7.0	2.5	1.5~4.0	J
かんどめ		ポケットロなどのあき止まりの補強	2.0	1.0~3.0	0.4	0.3~1.0	
ダーニング	58	普通地のつくろいぬい	7.0	25.70	2.0	0.4- 0.5	А
	59	厚地のつくろいぬい	7.0	2.0~7.0	2.0	0.4~2.5	

# 1 注意

<u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。

# 三重ぬい

そでぐりや股ぐりなど、ぬい目を丈夫にしたいところ をぬうときに使用します。



 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

()0	
	F

- 2 模様 4
  - ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。



# 3 ミシンをスタートさせます

●「ミシンをスタートさせる」(→ P.57) を参照してください。

# かんどめ

かんどめは、ポケットロやあき止まりなど、力のかかる 部分を補強するときに使用します。

ここでは、ポケットロにかんどめをする場合を例に説明します。





かんどめの長さを決めます。

ボタン穴かがり押え<A>の押えスケー ルの目盛り(1目盛り5mm)を合わせ て、長さを決めます。



⊳ お知らせ

● 最大約28mmのかんどめができます。



 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

- 3 模様 ∞ 📲 を選択します。
  - ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。



4 ポケットロが手前になる向きに布地を 置き、ポケットロより2mm手前に針 が刺さる位置で押えを下げます。



上糸は押えの穴から押えの下に通してお きます。

# 淼 お願い







# つくろいぬい(ダーニング)

布地がやぶれたときなどに、つくろいぬいをします。 ダーニングは、次の順でぬっていきます。





やぶれた箇所から2mm手前に針が刺 さるように布地を置き、押えを下げま す。



上糸は押えの穴から押えの下に通してお きます。



5 ミシン本体のボタン穴かがりレバーを 一番下まで引き下げます。



ボタン穴かがりレバー

ボタン穴かがりレバーが、押えの突起部の後ろ側になるようにします。

ボタン穴かがりレバー





ぬい終わると、自動的に止めぬいをしてストップします。

7 糸を切り、押えを上げて布地を取り出 します。



⊳ お知らせ

● 厚地などで布地が進まないときは、ぬい目を長く (ぬい目をあらく)します。「ぬい目の長さを調節 する」(→P.64)を参照してください。

# はとめ穴を作る

ベルトの穴などに使用するはとめ穴(アイレット)を作ります。7mm・6mm・5mmの大きさのはとめ穴ができます。



# 横送り(直線・ジグザグ)

でき上がったそでやズボンなどの筒状の布地に、ワッペンをつけるときなどに使用します。

名称	模様	用途	振り幅	ぬい目の長さ	押え
横送り直線	<sup>68</sup>	そでやズボンのすそのワッペンつけ (左向き直線)	_	_	
	69	そでやズボンのすそのワッペンつけ (右向き直線)	_	_	N
+#`*たこごだせが	70 ₩	そでやズボンのすそのワッペンつけ (左向きジグザグ)	—	_	
検达りンクリク	71 ~~	そでやズボンのすそのワッペンつけ (右向きジグザグ)	_	_	

# 注意 ● <u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタ ート∕ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動 してケガの原因となります。

3

筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬいます。



- 補助テーブルを左へ引いて取り外します。
  - ●「フリーアームにする」(→P.52)を 参照してください。

2 模様ぬい押え<N>を取り付けます。

 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してださい。





模様 🎼 を選択します。



6	模様 <sup>68</sup> ↓ を選択し、2をぬいます。
	布地が横に動きます。ずれないように手 を添えてぬってください。
	2
6	模様 🎼 を選択し、3をぬいます。
	3
7	<b>模様 <sup>69</sup>⊖ を選択し、4をぬいます</b> 。 布地が横に動きます。ずれないように手 を添えてぬってください。
	4
•	<b>お知らせ</b> ジグザグも同様にぬいます。

# 飾りぬいをする

いろいろな飾りぬいができます。

名称	模样	田途		振り幅	ぬい	目の長さ	相え		
יטזיבר	1 <del>×</del> 14k		自動	手動	自動	手動	JT72		
ファゴティング		布地と布地の間を離してかがる	5.0	0.0~7.0	2.5	1.0~4.0			
	33			2.5~7.0					
	28		4.0	0.0~7.0	1.2	0.2~4.0			
つき合わせ	29	飾りぬい		2.5~7.0	2.5	1.0~4.0			
	30 <mark>/-/</mark> -/		5.0		1.2		J		
シェルタック	20 F	シェルタック	4.0		2.5	0.2~4.0			
	31			- 0.0 ~ 7.0 2.5 ~ 7.0	0.0~7.0	0.0~7.0	1.6		
スモッキング	32	スモッキング				1.0~4.0			
	33		5.0		2.5				
スカラップ	27 3				0.5	0.1~1.0			
	<sup>39</sup> <b>E</b>	- レース付け、ふち飾り、ヘアルームなど	3.5		2.5	1.6~4.0			
	40 🕌		6.0		3.0	1.5 ~ 4.0			
	41	薄地・普通地・平織り布のふち飾り、ヘアルームなど       高ち飾り、リボン通し、ヘアルームなど	5.0	1.5 ~ 7.0	3.5				
	42 月				4.0		N		
飾りぬい	43 😿				2.5				
					2.0				
	45 8				3.0				
			6.0						
	47 <b>5</b>	へアルームなど	5.0		1.6	1.0~4.0			

名称	模様	用途	」 自動	<sup>振り幅</sup> 手動	ぬい 自動	目の長さ 手動	押え
飾りぬい	<sup>35</sup> 📕		4.0	0.0~7.0	3.0	2.0~4.0	J
	36	hotol     h			2.5	1.0~4.0	
	37		5.5		1.6	1.0~4.0	
	38		5.0	1.5~7.0	1.0	0.2~4.0	Ν

注意

# <u>押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。</u>万一、スタート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。



# スカラップ

貝殻を並べたような連続した波形の模様を「スカラッ プ」といいます。ブラウスの衿やハンカチのふち飾り などに使用します。



模様ぬい押え<N>を取り付けます。

 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。





 ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。





模様が布端にかからないように、布端 から少し離してぬいます。



お知らせ

● ぬう前に布地にアイロン用スプレーのりをかけて おくと、きれいに仕上がります。

Δ ぬい目に沿って布端を切ります。

糸を切らないように注意してください。



# スモッキング

ギャザーの上に模様や刺しゅうをした飾りぬいのこと を「スモッキング」といいます。ブラウスの胸もとやそ で口の飾りなどに使用します。

- ジグザグ押え<J>を取り付けます。
  - ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

]0	-	J	Γ III I
	J	Ĥ	Ð

2 直線を選択し、ぬい目の長さを 4.0mm、上糸調子を弱めにします。

下糸は上に引き出しておきます。

 ●「ぬい目の長さを調節する」(→ P.64)、 「糸調子を調節する」 (→ P.64)、 「下糸を引き出してからぬう」 (→ P.45) を参照してください。





亩

i M ≫

表

4.0





ここではドロンワークのぬい方の例を2つ紹介しま す。

ドロンワーク(例1)

模様を左右反転させて、2回ぬいます。



織り糸を抜き取った右端をぬいます。





飾りぬいをする

# いろいろな模様をぬう

アルファベット(3種類)、ひらがな/カタカナ、飾り模様、サテンステッチ、飾りサテン、クロスステッチ、実用飾り模様がぬえます。すべて、模様ぬい押え<N>を取り付けてぬいます。

# 模様をきれいにぬうには

きれいに模様を仕上げるために、以下の点に注意して ください。

### 布地

伸びる布地や薄地、織りがあらい布地は、裏に別 売の接着芯を貼るか、またはトレーシングペーパー などの薄い紙を布地の下に敷いてぬいます。サテ ンステッチをぬうときは、ぬい縮みやぬい詰まり が起きることがあるので、必ず接着芯を貼ってく ださい。

### 針・糸

針は、薄地・普通地・伸びる布地のときは、ブラ ザー専用 HG 針ニット用(金色)、厚地のときは家 庭用ミシン針(HA × 1)14 番を使用します。糸 は 50 ~ 60 番を使用します。

## 試しぬい

布地の種類や厚さ、接着芯などによって模様がく ずれることがあります。必ず試しぬいをしてくだ さい。また、ぬうときには布地がずれないように、 手を添えてぬってください。









いろいろな模様をぬう

# 模様の大きさを変える

アルファベット(ゴシック体・アウトライン)と ひらがな/カタカナ、または飾り模様と飾りサテ ンは、模様の大きさを大/小に切り替えることが できます。

その他の模様は、大きさを切り替えることはできません。

模様を選択します。

- ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。
- 2 本小を押して、サイズを切り替えます。





# > お知らせ

 通常の大きさは大です。小に切り替えると、小の 模様が連続して組み合わせられます。

# 模様の密度を変える

飾りサテンを選択した場合は、模様の密度を変えるこ とができます。

- 1 模様を選択します。
  - ●「模様を選ぶ」(→ P.77)を参照して ください。



2 🛐 を押して、密度を切り替えます。

📰 はあらく、🛐 は細かくなります。





密度を細かく設定すると、糸 によってはぬいづまりが起 こり、針が折れることがあり ます。



2 🔝 を押します。



▶ 14 になり、模様が長くなります。



キーを押すごとに、数字が変わります。

□1 から □5 の5段階から選択できます。

♦ ♦ ♦ ♦ ♦
1 1 1 2 1 3 1 4 1 5





### ■ 模様を呼び出す 模様を記憶させる 🖪 を押します。 組み合わせた模様をミシンに記憶させることができ ます。記憶させた模様は電源を切っても消えないの で、いつでも呼び出してぬうことができます。名前な æ Ŵ どの文字の組み合わせ模様を記憶させると便利で す。10組までの模様を記憶させることができます。 Ð ■ 模様を記憶させる Ş あし 模様を組み合わせます。 ▶ ポケットの選択画面が表示されます。 (2 呼び出す模様を選択します。 ●「模様を組み合わせる」(→ P.131)を 参照してください。 □ を押して、表示される模様を確認しま 操作パネルの 記憶 (記憶キー)を押し す。模様がすべて表示されないときは、 確認を押すと、確認することができます。 ます。 &,+∩|≫ ٩ľ۶ 確認 確認 模様が記憶されて mimi . 削除 削除 いるポケット 大国の国内 4 < > 記憶 刺しゅう 設定 使い方 ▶ 選択したポケットが 🕎 になり、模様が表示 されます。 「記憶中」と表示されます。完了すると、もとの きを押します。 3 画面に戻ります。 お願い 確認 ● 記憶中は、電源を切らないでください。途中で電 削除 源を切ると、模様データが消えることがあります。 e B ▶ 模様が呼び出され、ぬうことができます。 NÍ ≫ 確認 削除 w. 大小 o∞d⊿¦N







▶ もとの画面に戻ります。

9 もう一度 の をぬって、模様を確認します。

正しくぬえるようになるまで調整します。

# オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)

マイイラスト機能を使って、オリジナルの模様を作ることができます。



# イラストを入力する

マイイラストシートに描いたイラストを入力して模 様データを作成します。



模様ぬい押え<N>を取り付けます。

 ●「押えを交換する」(→ P.49)を参照 してください。

	_
- N	
-75-	꿁
	ل
_[	1_
J	Ŀ





▶ 模様データを入力する画面が表示されます。

3 1つ目の点を入力します。

●● で1つ目の座標に点を移動さ
 せて、セットを押します。



4 1つ目の点と2つ目の点の間のぬい方を 設定します。

> 1重ぬいにするときは、 11 (1)を選択します。 3重ぬいにするときは、 11 (1)を選択します。



5 2つ目の座標に点を移動させて、 セット を押します。



6 ④~⑤を繰り返して、残りの点を入力 します。

> 誤って点を入力したときは、**| 削 除 |** を押すと、最後に入力した点が取り消 されます。

> 入力したデータを編集するときは、 **編集**を押します。点を挿入した り、消去したり、移動させたりするこ とができます。





すべての点を入力したら、<u>0K</u>を押 します。



▶ 縫製画面が表示されます。


すことができます。詳細は、「模様を記憶させる」 (→P.137)を参照してください。

# 作品例

表の順番に従って、点を入力します

点	$\leftrightarrow$	1	点	$\leftrightarrow$	1
1	0	0	21	38	13
2	12	0	22	35	14
3	18	3	23	32	13
4	22	6	24	30	10
5	23	10	25	32	6
6	21	13	26	35	3
7	17	14	27	41	0
8	14	13	28	45	0
9	12	11	29	47	4
10	9	13	30	44	7
11	6	14	31	45	11
12	3	13	32	47	13
13	1	10	33	50	14
14	3	6	34	54	13
15	6	3	35	56	10
16	12	0	36	55	6
17	41	0	37	51	3
18	43	4	38	45	0
19	40	7	39	70	0
20	41	11			

<u>EN</u>					
点	$\leftrightarrow$	1	点	$\leftrightarrow$	1
1	0	0	21	10	11
2	30	0	22	12	10
3	32	1	23	8	9
4	32	7	24	12	8
5	32	10	25	7	6
6	33	12	26	12	6
7	35	11	27	6	3
8	35	8	28	10	2
9	37	12	29	5	0
10	35	14	30	10	2
11	32	14	31	16	1
12	30	11	32	19	0
13	30	5	33	23	0
14	29	3	34	22	6
15	26	8	35	17	10
16	24	10	36	22	6
17	18	13	37	23	0
18	13	14	38	19	0
19	12	14	39	42	0
20	13	12			

$\bigcirc$					
点	$\leftrightarrow$	1	点	$\Leftrightarrow$	1
1	0	0	21	16	10
2	3	5	22	18	12
3	5	8	23	21	13
4	8	11	24	25	14
5	12	13	25	28	14
6	17	14	26	33	13
7	20	14	27	37	11
8	24	13	28	41	8
9	27	12	29	43	5
10	29	11	30	44	0
11	31	9			
12	32	6			
13	30	3			
14	27	1			
15	24	0			
16	21	0			
17	18	1			
18	16	3			
19	15	5			
20	15	8			

$\mathbf{k} \mathbf{k}$					
点	$\leftrightarrow$	1	点	$\leftrightarrow$	1
1	0	7	21	20	11
2	5	7	22	21	7
3	4	3	23	24	7
4	5	7	24	23	14
5	8	7	25	24	7
6	7	0	26	27	7
7	8	7	27	27	11
8	11	7	28	27	7
9	11	3	29	32	7
10	11	7	30	27	11
11	16	7	31	23	14
12	11	3	32	20	11
13	7	0	33	16	7
14	4	3	34	20	3
15	0	7	35	23	0
16	4	11	36	27	3
17	7	14	37	32	7
18	11	11			
19	16	7			
20	21	7			



ここでは、刺しゅうの手順を説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。

きれいに刺しゅうをするには	
刺しゅう押え <q>を取り付ける</q>	
刺しゅう機を取り付ける	
布地を用意する	
刺しゅう枠を取り付ける	
刺しゅう模様を選びましょう	
刺しゅうをしてみましょう	
こんなとき	
模様の記憶機能を使う	

# きれいに刺しゅうをするには

ここでは、刺しゅうをする前に必要なことを説明します。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。

# 用意するもの

刺しゅうをするときは、次のものが必要です。

#### 布地

刺しゅうする布地を用意します。刺しゅう模様の 大きさに合わせて、刺しゅう枠より少し大きめの 布地を用意します。



- 薄地や伸びる布地など、ぬいにくい布地には、あらかじめブラザー専用接着芯を貼ってください。
- 大きな布地に刺しゅうするときは、ミシンを置いた テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてく ださい。布地が垂れ下がった状態で刺しゅうする と、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原 因となります。

## 注意

 刺しゅうができる布地の厚 さは、布地を張った刺しゅ う枠をミシンにセットし、
 (針上下スイッチ)を 押して針を上げたときに、 布地と押えにすきまができ るものまでです。それ以上 の厚さのものをぬうと、針 が折れたり曲がったりする おそれがあります。
 刺しゅうを重ねると、針が

布地に刺さりにくくなり、 針が折れたり曲がったりす るおそれがありますので、 ご注意ください。

#### 接着芯

ぬい縮みや模様がくずれることを防ぎ、刺しゅう をきれいに仕上げるために、布地に刺しゅう用接 着芯を貼ります。



接着芯は、別売りのブラザー専用刺しゅう用接着 芯をおすすめします。オーガンジーなどの薄い素 材や、タオルなどの起毛している布地には、水で 溶ける水溶性シートを使用してください。「別売オ プション」(→ P.17)を参照してください。

#### 刺しゅう糸

上糸は、別売りのブラザー専用刺しゅう糸(ウル トラポス)、またはカントリー刺しゅう糸を使用し てください。



下糸は、別売りのブラザー専用刺しゅう下糸を使 用してください。

> お知らせ

- 上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに 仕上がらないことがあります。
- ぬい始める前に、下糸の残量を確認してください。下糸が少ない状態で刺しゅうを続けると、糸がらみなどが起きる場合があります。

#### 針

家庭用ミシン針(HA × 1)の11番を使用します。 デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、家庭 用ミシン針(HA × 1)の14番を使用してください。



#### その他

別売オプション品として、刺しゅう枠 [LL] [S] などを用意しています。詳細は、「別売オプション」 (→ P.17)を参照してください。

# お知らせ

 刺しゅうをする場合は、別売刺しゅう機セット(モデル:ES150)をお買い求めください。刺しゅう 機セットには、次の部品が同梱されています。

刺しゅう機 刺しゅう枠・刺しゅうシート [M] 刺しゅう枠・刺しゅうシート [L] 刺しゅう押え<Q> USBケーブル 取扱説明書

## 刺しゅうの手順

刺しゅうをするときの基本の手順は次のとおりです。



# 刺しゅう押え<Q>を取り付ける

刺しゅう押え<Q>の取り付け方を説明します。 ※ オプション品です。





右手で押えホルダーを支え、左手でドラ イバーを奥に回します。



▶ 押えホルダーが押え棒から外れます。

6 図のように、右手で刺しゅう押え<Q> を持ちます。

> 右手の人差し指が押えの後ろ側のレバー にかかるように持ちます。



2

刺しゅう押え<Q>のレバーを指で押 しながら、刺しゅう押え<Q>の棒が 針のとめネジの上にかかるように、刺 しゅう押え<Q>を奥へ倒して押え棒 に合わせます。



8 刺しゅう押え<Q>が垂直になるように、 刺しゅう押え<Q>を押えホルダーのネ ジに取り付けます。





**押えホルダーのネジをしめます**。 右手で刺しゅう押え<Q>を支え、左手で

ドライバーを手前に回します。





刺しゅう押え<Q>を取り付 けるときは、指や押えが針に 当たらないようにしてくださ い。針が折れたり、ケガの原 因となります。 ネジは付属のドライバーで 確実にしめてください。ネジ のしめ方がゆるいと、針が押 えに当たり、折れたり曲がっ たりするおそれがあります。 必ず、ぬい始める前にプー リーをゆっくりと手前に回 し、針が押えに当たらない ことを確認してください。 針が折れたり曲がったりす るおそれがあります。



押えホルダーのネジをゆるめます。

右手で刺しゅう押え<Q>を支え、左手で ドライバーを奥に回します。



- 5 刺しゅう押え<Q>のレバーを右手の 人差し指で押しながら、刺しゅう押え <Q>を押え棒から取り外します。
  - 押えホルダーを取り付けます。
    - ●「押えホルダーを取り付けるとき」 (→ P.51)を参照してださい。

# 刺しゅう機を取り付ける

刺しゅうをするときは、刺しゅう機を取り付けます。 ※ オプション品です。





刺しゅう機を取り付ける





します。



# 布地を用意する

刺しゅうする布地に接着芯を貼ってから、刺しゅう枠に張ります。



## 布地を刺しゅう枠に張る

接着芯を貼った布地と刺しゅう枠を用意し、布地を刺しゅう枠に張ります。

#### 刺しゅう枠 [L] (別売オプション)

縦 18 ×横 13cm までの範囲で刺しゅうができま す。



#### 刺しゅう枠 [M](別売オプション)

縦10×横10cmまでの模様を刺しゅうできます。



#### 刺しゅう枠 [LL] (別売オプション)

縦 30 ×横 13cm までの範囲で刺しゅうができま す。組み合わせ模様や大きな模様を刺しゅうする ときに使用します。



# 刺しゅう枠 [S] (別売オプション)

縦 2 ×横 6cm までの模様を刺しゅうできます。 文字などの小さな刺しゅうをするときに使用しま す。





● 模様によっては、刺しゅう枠[S]が使用できない ことがあります。





刺しゅう枠の調節ネジをゆるめて内枠 を外枠から取り外し、平らなところに 置きます。



2 接着芯を貼った布地を外枠の上に置きます。

布地の表が上になるように置きます。

● 接着芯の貼り方については、「布地に接 着芯を貼る」(→ P.156)を参照してく ださい。





**布地の上から内枠をはめます**。 内枠の △ と外枠の ▽ の印を合わせます。



4 調節ネジを軽くしめ、内枠を押さえな がら布地の四方を引っ張ってたるみを なくします。





 布地がたるんでいると、模様くずれやぬい縮みの 原因となります。必ずたるみのないように刺しゅう 枠に張ってください。 刺しゅうシートを使う 刺しゅうシートを使用すると、布地の正確な位置に刺しゅうすることができます。 ※オプション品です。



 布地の刺しゅうをしたい位置に、チャ コペンで印を付けます。







3 布地の印と刺しゅうシートの基準線を 合わせます。



(4) 外枠の上に布地と内枠を置き、布地を 張ります。
● 布地の張り方については、「布地を刺しゅ う枠に張る」(→ P.157)を参照してく ださい。
<b>5</b> 刺しゅうシートを取り外します。

### ■ 刺しゅう枠に張れない布地に刺しゅうをす るとき

刺しゅう枠に張ることができない小さい布地 や、テープのような細い布地に刺しゅうをする 場合は、接着芯を土台にして刺しゅう枠に張り ます。

接着芯は、ブラザー専用接着芯をおすすめしま す。



刺しゅう

刺しゅうが終わったら、接着芯をていねいに取 り除きます。

# 刺しゅう枠を取り付ける <sup>布地を張った刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付けます。</sup> ※刺しゅう機と刺しゅう枠はオプション品です。 刺しゅう枠を取り付ける ブラザー刺しゅう専用下糸をボビンに

●「糸をセットしましょう」(→ P.31) を参照してください。

巻いて、かまにセットします。







<u>ないように注意してくださ</u> <u>い。</u>ケガや針折れの原因とな ります。 4 刺しゅう枠ホルダーのレバーを指で左 へ軽く押さえながら、刺しゅう枠の2 つの留め金を刺しゅう枠ホルダーのピ ンに合わせて押し込みます。

手前の留め金をカチッと音がするまでピンに押し込んでから、奥の留め金を押し込みます。



▶ 刺しゅう枠が取り付けられます。

# 影お願い

 刺しゅう枠が刺しゅう枠ホルダーの2つのピンに 確実に取り付けられていることを確認してください。いずれか一方が取り付けられていないと、模様くずれの原因となります。





刺しゅう枠を取り付ける

刺しゅう

# 刺しゅう模様を選びましょう

刺しゅうする模様を選択します。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。

# ☆ お願い

● ミシン本体や別売りの刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅう模様は、一般家庭用としてのみご利用いただけます。営利または業務目的で使用することは、著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

#### 刺しゅう模様の種類

刺しゅう模様には、次のグループがあります。



#### ① ブラザーワンポイント模様

くだものや動物など、70の模様があります。 液晶画面に表示される指示に従って上糸を交換 しながら刺しゅうを完成させます。模様の選び 方については、「ブラザーワンポイント模様 / ワンポイント模様」(→ P.167)を参照してく ださい。

#### ② ワンポイント模様

くだものや動物、文字など 66 の模様がありま す。液晶画面に表示される指示に従って上糸を 交換しながら刺しゅうを完成させます。模様の 選び方については、「ブラザーワンポイント模 様 / ワンポイント模様」(→ P.167)を参照 してください。

#### ③ アルファベット(3書体)

大文字/小文字/数字/記号(11文字)/ヨー ロッパ文字があります。連続して18文字まで 選択することができます。模様の選び方につい ては、「文字模様を選ぶ」(→P.164)を参照 してください。 かな(ゴシック体/明朝体/丸文字)

ひらがな/カタカナ/漢字(38 文字)/数字 /記号(7 文字)があります。連続して 18 文 字まで選択することができます。模様の選び方 については、「文字模様を選ぶ」(→ P.164) を参照してください。

#### ④ 枠模様

四角や円などの 10 種類の形と、12 種類 のステッチを組み合わせることができます。 模様の選び方については、「枠模様を選ぶ」 (→ P.167)を参照してください。

#### ⑤ 刺しゅうカード

別売りの刺しゅうカードの模様を刺しゅうする ときに押します。模様の選び方については「刺 しゅうカードを使う」(→ P.168)を参照して ください。

## ⑥ ミシンに記憶させた模様の呼び出し

よく使用する文字の組み合わせなどの模様を ミシンに記憶させて、あとで呼び出して刺 しゅうすることができます。12 組までの模様 を記憶させることができます。記憶のさせ方と 呼び出し方については、「模様を記憶させる」 (→P.182)、「模様を呼び出す」(→P.182) を参照してください。

#### ⑦ パソコンからの模様の呼び出し

パソコンから模様を呼び出して刺しゅうすることができます。模様の呼び出し方については、 「パソコンから模様を呼び出す」(→ P.183) を参照してください。

## 液晶画面の操作

操作パネルの操作キーを使用しながら、液晶画面を 操作します。

ここでは、刺しゅうをするときのキーの使い方を説明 します。

#### ■ 操作キー



- 1 つ前の画面に戻ります。
- 液晶画面に表示されていない模様が あるとき(< または > が表示され ているとき)に、前候補/次候補を 表示します。
- 刺しゅう模様グループを選択する画
   面に戻ります。選択していた模様は
   取り消されます。
- 酸定 刺しゅうの色替の糸色表示を切り替 えるときや、糸調子や最高速度を変 更するときに押します。



ブラザー刺しゅう糸	:: ウルトラポスの色番号
カントリー糸:	カントリー糸の色番号
時間:	刺しゅうに必要な時間
針数:	針が進んだ数
糸色名:	一般的な色の名称

- 刺しゅう糸調子: 糸調子を -8 から +8 の範囲で 調節します。
- 刺しゅう最高速度: 最高速度を 650SPM(速い) または 350SPM(ゆっくり) の間で切り替えます。

■ 液晶画面のキー

	C⊡∷ c o m e 削除
	a b c d e f 確認
	ghijk I 🛲 🛪
	mn Aab+Dge
確認	選択した文字模様の文字列を確認す
(PE0K)	ることができます。
	表示を切り替えます。
	<b>Co</b> :: 900
	1/1
	Welc
<b>‱≫</b>	自動糸切りや糸調子などの糸の設定
	をします。
	<u> Co :: c o m e 削除</u>
	<u>abcdefma</u>
	▶ 自動糸切りを設定/解除します。
	設定されているときは反転表示 されます。
	→ ● で糸調子を調節します。
	₩ - で糸密度を調節します。
	(文字模様と枠模様のみ)
	刺しゅうのしかたを設定したり、模
	様のレイアウトを調整したりすると
	きに押します。
	1.202 900
	L0179N
色替	文字模様を
	刺しゅうするごとにミシンがストッ
	プします。色替が設定されていると
	きは反転表示されます。





実用 文字模様

刺しゅう

設定



刺しゅう模様を選びましょう









枠の形を選択します。

(前ページキー) (次ページ キー)で画面を切り替えて、10種類 の中から選択します。



枠のステッチの選択画面が表示されます。



Aのステッチを選択します。

(前ページキー) (次ページ キー)で画面を切り替えて、12種類 の中から選択します。





## 刺しゅうカードを使う

ミシン本体に内蔵されている模様以外に、別売り の刺しゅうカードの模様を刺しゅうすることがで きます。刺しゅうカードには、テーマ別にいろい ろな模様があります。



# お願い

- 刺しゅうカードは、必ず電源を切って抜き差しして ください。
- 刺しゅうカードは、刺しゅうカード差し込み口に正 しい方向に差し込んでください。
- 刺しゅうカード差し込み口に、刺しゅうカード以外 のものを入れないでください。
- 刺しゅうカードを使用しないときは、収納ケースに 入れて保管してください。
- 当社の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、 ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当 社正規の刺しゅうカードを使用してください。
- 外国で販売されている刺しゅうカードは使用でき ません。
- 刺しゅうカードに内蔵されている大きな模様は、 液晶画面で見にくい場合があります。ご了承くだ さい。
- 電源を切ります。



2 ミシン本体右側面の刺しゅうカード差し込み口に刺しゅうカードを差し込みます。

刺しゅうカードに記されている矢印を 手前にして、まっすぐ差し込みます。





5

## 電源を入れます。









## 模様を選択します。

「ブラザーワンポイント模様 / ワンポ イント模様」(→P.167)と同様に操作 します。



#### ■ 漢字カードの場合

漢字カードに添付されている文字コード表を参照して、4桁の数字(文字コード)を入力します。

# 1 刺しゅうする漢字の文字コードを入力します。



誤って数字を入力したときは、**削除**を押し ます。

▶ 入力した文字コードの漢字が表示されます。

# 2 漢字を組み合わせるときは、続けて次の文字コードを入力します。



# 刺しゅうをしてみましょう

準備ができたら刺しゅうしてみましょう。ここでは、ワンポイント模様の場合を例に説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。



<ul> <li>□</li> <li>□<th>• •</th></li></ul>	• •
	ums
実用 文字模様 刺しゆう 設定 使いう	5

[例] 糸色名で表示する場合



刺しゅう糸をセットし、針に糸を通し

●「上糸を通す」(→ P.38)を参照して

● 糸通し装置を使用するときは、必ず押えを下げて



刺しゅうをしてみましょう

#### アップリケをする 4 布地を刺しゅう枠から取り外し、ぬい 目に沿って切り取ります。 土台になる布地とアップリケをする布地 (アップリ ケピース)を用意します。 [設定] (設定キー)を押して ぬい月の上をていねいに切り、糸を取り 糸色表示を糸色名に設定すると、液晶画面に「アッ 除きます。 プリケピース |、「アップリケノイチ|、「アップリケ| と表示されます。 アップリケ模様を選択します。 -10 +10< 29/66 30/66 > 5 土台になる布地を刺しゅう枠に張りま 虃 す。 淰 ▶ 液晶画面に「アップリケピース」と表示されま 6 アップリケをぬう糸をセットします。 す。 2 アップリケピースの布地の裏に接着芯を 押えレバーを下げ、🛞 (スタート/ 貼り、布地を刺しゅう枠に張ります。 ストップスイッチ)を押します。 ���� アップリケノ 押えレバーを下げ、🛞 (スタート/ 3 イチ 2/4 確認 ストップスイッチ)を押します。 アップリケ ίΩα 峦面 アップリケの位置をぬって、ミシンがストップ します。液晶画面に「アップリケ」と表示され ます。 ▶ アップリケピースの切り取り位置をぬって、ミ シンがストップします。液晶画面に「アップリケ - アップリケの位置 ノイチーと表示されます。 十台の布地 切り取り線 - アップリケピースの布地



10 画面に従って残りのパーツを刺しゅう します。



# こんなとき

ここでは、模様のレイアウト調整のしかたや他の便利な機能を説明します。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。





こんなとき

## 糸調子を調節する

刺しゅうを失敗すると、糸をほどくことが難しく、布地 をいためることがあります。刺しゅうを始める前に、同 じ布地のはぎれを使用して糸調子などを確認してく ださい。

糸調子を変更するときは、〔≥∞定〕(設定キー)を押 します。



● を押すと、上糸の調子が弱くなります。

● を押すと、上糸の調子が強くなります。

#### 正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見えます。



#### 上糸が強いとき

布地の表に下糸が見えている場合は、上糸を弱く します。



#### 上糸が弱いとき

お願い

上糸がたるんでいる場合は、上糸を強くします。



● 下糸セットと上糸通しが正しく行われていない場合、糸調子が合わないことがあります。糸調子を調節しても糸調子が合わないときは、下糸セットと上糸通しをやり直してください。



上糸の色を誤って刺しゅうしたときは、正しい色の上 糸をセットして刺しゅうし直します。

- (スタート/ストップスイッチ) を押してミシンをストップさせます。
  - 🔁 廀更 を押します。

<b>CO</b> :: 01:	9	
2/4 ్యి	4	- <u>確認</u> ※ >
ల్య	45	変更

3 🕎 を押します。

<b>CO</b> :: 01:	9	
2/4		
తి	2	
త్త	<b>~</b>	[//アウト



<u> </u>	(1色戻る)を押して、	色を誤っ
たパ-	ーツの先頭に戻します。	



5 正しい色の上糸をセットし、 🛞 (ス タート/ストップスイッチ)を押して 刺しゅうします。



こんなとき


10	<b>V</b> +	(1針進む)	を押して、	針数を進
	めます	•		

1針→9
 針→30 針ずつ進みます。



中断したところより10針ほど前まで針数 を進めます。





11 刺しゅうを再開します。

こんなとき

# 模様の記憶機能を使う

よく使用する模様をミシンに記憶させたり、呼び出して刺しゅうしたりすることができます。また、パソコンから模様データを呼び出して刺しゅうすることもできます。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。

#### ■ 刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶させたデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

# 🚺 注意

当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合 や3回以上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針折れが発生するおそれがあ ります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置(刺しゅうPROなど)で、刺 しゅうデータを修正して使用してください。

#### 使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、pen、pes、dst ファイルのみです。pen ファイルはコピー 防止機能付きの刺しゅうデータ、pes ファイルは当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PRO など) で作成された刺しゅうデータです。
- ・ 当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動 するおそれがあります。
- .pen ファイルについては、当社インターネットの刺しゅうデータダウンロードサイト「ハートステッチズ」(https://sewco-world.brother.co.jp/heartstitches/index.aspx)で今後掲載される情報をご参照ください。

#### タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータについて

- ・ .dst データは、模様一覧画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。) ファイル名は、8文字までのアルファベット・数字で表示されます。
- ・ タジマフォーマット(.dst)には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても当社指 定の糸色順で表示されます。

#### 使用可能なパソコンの種類と OS

- ・ パソコンの種類
  - USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
- ・ 対応 OS

Microsoft Windows 98SE/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Vista/ Windows 7

※ Windows 98SE を使用する場合、パソコンヘドライバのインストールが必要です。ドライバはブ ラザー工業のホームページ(http://solutions.brother.co.jp/)よりダウンロードしてください。 なお、「Second Edition」の場合のみ、ドライバをご利用いただけます。

#### パソコンで作成・保存するときの注意

- ・ 刺しゅうデータのファイル名に、特殊記号等を使用すると識別できずに模様が表示されないことが あります。その場合は、ファイル名を変更してください。
- ・縦 30cm×横 13cm より大きな刺しゅうデータは扱うことができません。
- ・ 針数、色数の制限を越えて保存した .pes ファイルは使用できません。当社正規のデータ作成装置で、 制限内の模様に修正してご使用ください。
- ・ リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内に刺しゅうデータを保存した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。
- ・ 刺しゅう PRO などで作成した模様データは、作成時に選択した糸ブランドを変更することはできません。

🍃 お知らせ

 ◆本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には \*および™等のマークは明記しておりません。





# パソコンで「マイコンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択します。







「リムーバブルディスク」内の模様データがミシンに書き込まれます。

# がお願い

- データ書き込み中はUSBケーブルを抜かないで ください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されませんので、フォルダ内の模様データは呼び出すことができません。
- ・縫製中は「リムーバブルディスク」にデータを書き
   込んだり、「リムーバブルディスク」のデータを削
   除したりしないでください。

#### 刺しゅう



▶ 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

必要に応じて模様を調整してから、刺 しゅうします。

<b>CO</b> :: 209		
1/10		_ 確認
^	$\sim$	※※ 変更

# 🌛 お知らせ

 リムーバブルディスクにコピーした模様数が13 個以上の場合は、ミシンの液晶画面に模様は表示されず、「12模様までしか扱えません。模様を 減らしてください。」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、パソコン上でリムーバ ブルディスクの模様を削除して、12個以下にしてください。その後エラーメッセージを閉じ、
 に戻って を押してから模様を呼び出してください。



ここでは、ミシンのお手入れ方法と困ったときの対処方法などを紹介します。

お手入れ	
困ったとき	
アップグレードの方法…	
本体仕様	
さくいん	

# お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。

# 注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わないでく ださい。故障の原因となります。

本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的に注油する必要はありません。

万一、プーリーを回すと重い、異常な音がするなどの 症状が発生した場合は、ただちに使用をやめて、お買 い上げの販売店またはお客様相談室(ミシン119番) にご相談ください。

# ミシンを保管するときのご注意

以下の場所にミシンを保管しないでください。結露に よるさびの発生など、故障の原因となります。

- 温度が著しく高くなる場所
- 温度が著しく低くなる場所
- 急激に温度が変化する場所
- ●湿気、湯気の多い場所
- 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- ●ほこり、油煙の多い場所

🌾 お願い

本製品を未永くご愛用いただくために、ときどき
 電源を入れて、縫製してください。
 長期間保管したまま使用しない状態が続くと、ミシンの性能を損なうおそれがあります。

# 本体表面の掃除

ミシン本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤をうす めて布に浸して固くしぼり、ふき取ります。洗剤でふい たあとは、乾いた布でふき取ります。



かまの掃除

針板の下にあるかまを掃除します。 かまには糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良に なる場合があります。定期的に掃除してください。





お手入れ

187

# 困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および弊社サポートページ、ブラザー ソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp)のQ&Aを確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」 (フリーダイヤル0120-340-233)にご相談ください。

# よくあるご相談

以下のよくあるご相談については、詳しい原因と対処方法を記載しております。お問い合わせの前にご確認ください。

■ 上糸がつる	(→P.188)
■ 布裏で糸がからまる	(→P.189)
■ 糸調子が合わない	(→P.191)
■ 布がミシンに入り込んでとれなくなった	(→P.192)

# 上糸がつる

- こんなとき
  - 上糸がピンと一本線になっている。
     布地の上側の面に下糸がポツポツと出ている(イラスト参照)。
  - 上糸がつっていて、引くと抜けてしまう。
     上糸がつっていて、布にしわがよってしまう。
  - 上糸が強く、糸調子を調節してぬい直し てもまったく変わらない。



#### ■ 原因

#### 下糸のセットがまちがっている

下糸のセットがまちがっていると、下糸に適正 な張力が加わらず、上糸が引き上げられる際に 布地まで一緒に引っぱられてしまいます。その ため、布地の上に糸が出てしまいます。 対処方法/確認内容 下糸を正しくセットしなおします。

- 1 電源を切ります。
- 2 いったんボビンを内かまから取り出します。
- 3 糸が正しい方向から出るように、ボビ ンを内かまにセットします。
  - ●糸が必ず左巻きになるように、右手でボビンを持ち、左手で糸端を持ちます。そのまま右手でボビンを内かまに入れます。



糸が逆方向から出た状態でボビンをセットすると、正しい糸調子でぬうことができません。





● 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が

付録

困ったとき



# 糸調子が合わない

#### ■ こんなとき

- 症状① 布地の上側にポツポツと下糸が出ている。
- 症状② 布地の上側で上糸が直線になる。
- 症状③ 布地の下側にポツポツと上糸が出ている。
- 症状④ 布地の下側で下糸が直線になる。
- 症状⑤ 布地の下側のぬい目がゆるい、またはたるむ。

#### 症状①



#### ■ 原因/対処方法/確認内容

#### 原因 1

#### 糸が正しくミシンにセットされていない。

<上記の症状①、②に該当する場合> 下糸が正しくセットされていません。 上糸の糸調子を初期設定(反転表示)に戻し、「上糸 がつる」(→ P.188)を参照してセットし直します。

<上記の症状③~⑤に該当する場合>

上糸が正しく通っていません。

上糸の糸調子を初期設定(反転表示)に戻し、「布 裏で糸がからまる」(→ P.189)を参照して糸を かけ直します。

#### 原因 2

#### 布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分 けが必要です。

布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合 わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの 原因になったりします。

> ●「針の種類と使い分け」(→ P.46)の 一覧表を参照して、布地に合った糸と針 を使用しているか確認してください。

#### 原因 3

#### 上糸調子ダイヤルの数値が適正でない。

「糸調子を調節する」(→ P.64)を参照して、適 正な糸調子になるように調節します。 使用する布地/糸の種類やぬい方によって、適正 な糸調子は異なります。 症状③



※実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいを して、糸調子を調節してください。

# ◎ お願い

● 上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子を正しく調節できません。上糸かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

● 布地の上側に下糸が見える場合
 表示パネルの → を押して、上糸の調
 子を弱くします。

JC	ŧ∩≥
000	リセット記憶
~~~ 0.0	<sup>™</sup> mm 2.5 ≫ 4.0
-+	

# ● 布地の下側に上糸が見える場合

表示パネルの **▲** を押して、上糸の調 子を強くします。

JC	+ <b>₽</b> ≥
VW	リセット記憶
<i>^₩</i> 0.0	<u>mm</u> 2.5 ∞ 4.0
-+(	-+-+







# 3 プーリーをゆっくりと手前に回し、針が針穴の中央に落ちることを左右前後から見て確認します。

針が針板に当たる場合は、もう一度針 板を取り外し、「布をミシンから取り 外す」(→P.192)の手順14からや り直してください。



- 4 ジグザグ模様 <sup>7</sup> 
  ▼ を選択します。この とき、ぬい目の長さと振り幅を最大に してください。
  - 設定の変更については、「ぬい目を調節 する」(→ P.63)を参照してください。
- 5 プーリーをゆっくりと手前に回し、針棒と 送り歯が正しく動くことを確認します。 針や送り歯が針板に当たる場合は、ミシ ンの故障が考えられますので、お買い上 げの販売店、または「お客様相談室(ミ シン119番)」(フリーダイヤル0120-340-233)にご相談ください。
- 6 電源を切ってから、ボビンと押えをセ ットします。
  - ●「下糸をセットする」(→ P.37)、「押 えを交換する」(→ P.49)を参照して ください。
- - 🎊 お願い
  - 上糸が正しくセットされていなければ、糸がらみの原因になります。正しく上糸をセットしてください。

8 普通地で試しぬいをします。

🎄 お願い

● 正しくぬえない場合、原因として、上糸が正しくセットされていないことや薄い布地を使用していることが考えられます。試しぬいの仕上がりが良くない場合は、上糸のかけ方やお使いの布地を確認してください。

# こんなときには

## ■ ぬう前の準備

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに4~5回ボビ ンに巻き付けます。	P.33
下糸がボビンに きれいに巻けない	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていな い。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかけます。	P.33
	ボビンの回転が遅い。	スピードコントロールレバーを「はやく」に します。	P.34
下糸巻き中、ボビ ン受け座の下に下 糸が巻かれた	下糸の巻き方がまちがっている。	受け座の下に巻かれた糸をほどいた後、下糸 を正しく巻きます。	P.35
針穴に糸が通ら	針が正しい位置にない。	針上下スイッチで針を上げます。	P.39
ない	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	P.47
ランプが	ランプが故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番 )」(フリーダイヤル 0120- 340-233)にご相談ください。	_
	電源が入っていない。	電源を入れます。	P.25
液晶画面に何も 表示されない	液晶画面の明るさが明るすぎる、または暗す ぎる。	液晶画面の明るさを調整します。	P.203
スイッチを押して も動かない	液晶画面にアニメーションが表示されてい る。	液晶画面に指で触れてアニメーションを消去 します。	P.26
刺しゅうキーを 押しても動かない	刺しゅう機が取り付けられていない。	刺しゅう機を取り付けます。 別売りの刺しゅう機をお買い求めください。	P.152
刺しゅう機が取り 付けられない	刺しゅう機差し込み口のふたが閉まってい る。	刺しゅう機差し込み口のふたのつまみに指を かけて、ふたを開けます。	P.153

# ■ ぬっているとき

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	電源が入っていない。	電源を入れます。	P.25
	スタート/ストップスイッチを押していな い。	スタート/ストップスイッチを押します。	P.58
	押えレバーが上がっている。	押えレバーを下げます。	P.57
ミシンが動かない	フットコントローラーを接続した状態で、ス タート/ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを接続しているとき は、スタート/ストップスイッチは使用でき ません。スタート/ストップスイッチを使用 する場合は、フットコントローラーを取り外 します。	P.57
	下糸巻きを行った後、下糸巻き軸が右側のま まになっている。	下糸巻き軸を左側に戻します。	P.35
	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	P.47
やようごナビカ ス	針のとめネジがゆるんでいる。	ドライバーでとめネジをしっかりしめます。	P.48
± /J'J/ 1 (⊘	針が曲がっている。針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	P.47
	針が布地や糸に合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P.46

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P.49
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P.64
	布地を無理に引っ張っている。	布地は軽く押さえます。	_
	糸こまや糸こま押えが正しく取り付けられて いない。	糸こまと糸こま押えを正しく取り付けます。	P.39
針が折れる	針板の穴の周囲にキズがある。	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン119番)」(フリーダイヤル0120- 340-233)にご相談ください。	_
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン119番)」(フリーダイヤル0120- 340-233)にご相談ください。	_
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン119番)」(フリーダイヤル0120- 340-233)にご相談ください。	_
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P.31
	糸こまが正しくセットされていない。 糸こま押えの大きさが合っていない。 針棒糸かけから糸が外れている。	上糸を正しくセットします。	P.38
	糸に結び目やこぶがある。	その部分を取り除きます。	_
	針が糸に合っていない。	糸に合った針を使用します。	P.46
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P.64
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まって いた場合は、掃除します。	P.186
	針が曲がっている。針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	P / 7
上糸が切れる	針が正しく取り付けられていない。 針を正しく取り付けます。		1.47
	針板の穴の周囲にキズがある。	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」(フリーダイヤル 0120- 340-233)にご相談ください。	_
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン119番)」(フリーダイヤル0120- 340-233)にご相談ください。	_
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン119番)」(フリーダイヤル0120- 340-233)にご相談ください。	_
上糸が切れる	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P.31
	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	
下糸がからまる	ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	_
下糸が切れる	糸がからまっている。	からんだ糸を取り除き、かまを掃除します。	P.186
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P.31

こんなとき	原因	対処	参照ページ	
	上糸または下糸のセットがまちがっている。	上糸、下糸を正しくセットします。	P.37 P.38	
	糸こまが正しく取り付けられていない。	糸こまを正しく取り付けます。	P.39	
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P.46	
巾地にしわかよる	針が曲がっている。針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	P.47	
	薄地の場合に、ぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくします。または布地の下に八 トロン紙などを敷いてぬいます。	P.64 P.72	
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P.64	
	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P.38	
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P.46	
ぬい目がとぶ	針が曲がっている。針先がつぶれている。	新しい針に交換します。		
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	P.47	
	針板の下やかまにほこりなどがたまってい る。	針板ふたを取り外してかまを掃除します。	P.186	
	送り歯やかまにほこりがたまっている。	かまを掃除します。		
ぬっているときの	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P.38	
音が高い ガタガタと音が する	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」(フリーダイヤル 0120- 340-233)にご相談ください。	-	
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P.31	
	送り歯が下がっている。	ドロップレバーを左に動かします。	P.112	
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	P.64	
左地を送らたい	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P.49	
111日で220ない	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まって いた場合は、掃除します。	P.186	
	ぬい始めに段差があって、ジグザグ押えが傾 いている。	ジグザグ押え <j> の固定ピンで押えを水平 にしてぬいます。</j>	P.71	
布地が逆方向に送 られる	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」(フリーダイヤル 0120- 340-233)にご相談ください。	_	
布がミシンに入り 込んでとれない	糸が針板の下でからんでいる。	布を持ち上げて、布の下の糸を切ります。次 にかまの掃除をします。	P.189	
刺しゅう機が動か	模様を選択していない。	模様を選択します。	P.162	
ない	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	P.152	

# ■ 仕上がり

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P.38
	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P.37
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P.46
糸調子が合わない	押えホルダーが正しく取り付けられていな い。	押えホルダーを正しく取り付けます。	P.51
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P.64
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P.31
	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P.49
模様がきれいに	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P.64
ぬえない	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まって いた場合は、掃除します。	P.186
布裏で糸がから まる	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P.38
上糸がつる	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P.37
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていな い。布地の張り方がゆるい。	刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	P.157
	接着芯を貼っていない。	伸びる布地、薄い布地、目のあらい布地、ぬ い縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接 着芯を貼ってください。	P.156
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まって いた場合は、掃除します。	P.186
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P.64
きれいに	キャリッジや刺しゅう枠の周辺にものが置い てある。	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠がもの にぶつかると、模様がくずれます。刺しゅう 枠が動く範囲には、ものを置かないようにし てください。	P.154
刺しゅうできない	刺しゅう枠からはみ出した布地が、じゃまに なっている。	刺しゅう枠からはみ出した布地がじゃまにな らないように布地を張り替え、模様を回転さ せて刺しゅうをします。	_
	重たい衣類に刺しゅうしていて、テーブルか ら布地が垂れ下がっている。	布地がテーブルから垂れ下がった状態で刺 しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くな ります。布地が垂れ下がらないようにしてく ださい。	_
	布地がひっかかっている。はさみ込まれてい る。	ミシンをストップさせて、布地を正しい状態 にします。	_
	刺しゅうの途中で、刺しゅう枠を取り外した り取り付けたりしたときに、キャリッジを動 かした。	途中でキャリッジを動かすと、模様くずれの 原因となります。刺しゅう枠を取り外したり 取り付けたりするときは、注意してください。	_

# 液晶画面のメッセージ表示

誤った操作をしたときのメッセージや操作のアドバイスが、液晶画面に表示されます。表示された内容に従ってください。以下に記載のないメッセージが表示された場合は、お買い上げの「販売店」または「お客様相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤル0120-340-233)までお問い合わせください。

表示	原因
▲説明書の圧ラ ーメッセージ をみてくださ 閉♡る い。	上糸がかまにからんだ、針が曲がって針板に当たったなどでミシンが停止した (→ P.188 参照)
① 上糸が切れて いないか確か めてください。 閉じる	上糸が切れた 上糸が正しくセットされていない 上糸がなくなった
① 押えレバーを 上げてくださ い。	押えが下がった状態で、刺しゅう機の初期設定を行おうとした
① 押えレバーを 下げてくださ い。 閉じる	押えが上がった状態で、スタート/ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・ 糸切りスイッチのいずれかを押した
記憶中	模様の記憶中
① このカードは 使用できませ ん。 閉じる	本製品で使用できない模様カードをセットして、カードの模様を選択しよう とした
① この画面では ぬえません。 閉じる	縫製画面以外で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押 した
① この模様は使 えません。 閉じる	このミシンで使用できない模様を選択しようとした
① これ以上組合 せできません。 閉じる	19 文字以上の文字を組み合わせようとした
① 刺しゅうカー ドを入れてく ださい。 閉じる	刺しゅうカードがセットされていないときに、液晶画面の

表示	原因
① 刺しゅう機が ついていない 時には使えま 閉じる せん。	刺しゅう機が取り付けられていないときに、刺しゅうキーを押した
① 刺しゅう機が ついている時 には使えませ 聞いる ん。	刺しゅう機が取り付けられているときに、使用できない機能を使用しようと した
▲刺しゅうキャ リッジが動き ます注意して ください。OK	刺しゅう機を取り付けた
① 下糸が少なく なりました。 下糸を巻いて 閉じる ください。	下糸がなくなった 下糸が残り少なくなった
① 下糸巻き軸を 左に戻してく ださい。	下糸巻き軸を右にした状態で、返しぬいスイッチ・針上下スイッチ・糸切り スイッチのいずれかを押した
下糸巻き中	下糸巻き装置で下糸巻き動作中
<ol> <li>設定条件を記 憶します。よろ しいですか?</li> <li>キャンセル</li> </ol>	実用模様の設定を変更して、 記憶 を押したとき
① 電源を切って 刺しゅう機を 取り外してく 閉♡る] ださい。	刺しゅう機が取り付けられているときに、実用/文字模様キーを押した
① 針が下の時に はこのスイッ チは使えませ 閉じる ん。	針が下がった状態で、刺しゅう模様の選択やレイアウトの変更をしようとし た
① 針上下スイッ チで針を上に 上げてくださ い。	針が下がっているときに、ミシンが動く動作をしようとした
<ol> <li>2本針設定を 解除して針を 交換してくだ</li> <li>キャンセル さい,m+M</li> </ol>	2本針の設定をした状態で、2本針が使用できない模様を選択した
① フットコント ローラーをは ずしてくださ 「閉じる」い。	刺しゅうのときに、フットコントローラーを使用しようとした フットコントローラーが取り付けられた状態で、スタート/ストップスイッ チを押した

困ったとき

表示	原因
① 振幅コントロ ールをOFF にしてくださ 閉じる い。	振幅コントロールが ON の状態で、フットコントローラーを接続せずにスター ト∕ストップスイッチを押した 振幅コントロールが使用できない模様を選択した (→P.112参照)
① 模様が消えま す。よろしいで すか? キャンセル OK	刺しゅう模様を選択した状態で、戻るキーまたは刺しゅうキーを押した
<ol> <li>         ・         ・         ・</li></ol>	刺しゅう枠からはみ出すまで文字を組み合わせようとした
① ボタン穴かが りレバーを上 げてください。 閉♡る	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり・かんどめ・ダー ニング以外の模様を選択してスタート/ストップスイッチまたは返しぬいス イッチを押した
① ボタン穴かが りレバーを下 げてください。 閉♡る	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがり・かんどめ・ダー ニングを選択してスタート/ストップスイッチを押した
① 模様を選んで ください。 閉じる	模様を選択していない状態で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬい スイッチを押した
 ① 模様が枠から はみだします。 閉 <sup>じる</sup>	刺しゅう枠に入りきらない文字数を設定しようとした
<ol> <li>空口の空量がたりません。模様を消してください。</li> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ol>	記憶エリアがいっぱいのときに、さらに記憶させようとした
① 12模様しか 扱えません.模 様を減らして IgじるI ください。	リムーバブルディスクに 13 個以上の模様データが入っているときに、模様 を呼び出そうとした
① データ容量の 制限を越えま した。 [閉೮る]	マイイラスト機能で、点の数の制限を超える模様データを作成した
<ul> <li>① 編集模様を最 後まで入力し てください。</li> </ul>	マイイラスト機能で、模様データを編集中にスタート/ストップスイッチを 押した
F01 ~ F07	ミシンが故障していることを考えられますので、お買い上げの販売店または お客様相談室 (0120-340-233) までお問い合わせください。

# 液晶画面に何も表示されないとき

電源を入れても液晶画面に何も表示されないとき は、液晶画面の明るさが明るすぎる、または暗すぎる ときです。その場合は、次の操作をしてください。





操作パネルのいずれかのキーを押しな
 がら、電源を入れます。



3 - ● を押して、画面の明るさを調整します。



4 もう一度電源を切って、電源を入れ直します。

### 電子音

キーを操作しているときや、誤った操作をしたときな どに、電子音が鳴ります。

**正しい操作をしたとき** 「ピッ」と鳴ります。

言いていていていていていていていていていていていていていています。

「ピッピッ」または「ピッピッピッピッ」と鳴ります。

糸がからむなど、ミシンがロックしたとき

「ピッピッピッ・・・」と4秒間鳴り続け、ミシンは自動的に止まります。OKボタンを押すと、操作可能な状態に戻ります。

必ず原因を確認して改善してから、再開してください。

#### ■ 電子音を消したいとき

購入時は、操作パネルのキーを操作すると音が 鳴るように設定されています。この音を鳴らな いように変更できます。

# 1 電源を入れます。



▶ 液晶画面が点灯します。





付録



# アップグレードの方法

パソコンを使用して、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。 アップグレード情報については、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にお問い合わせいただくか、ブラザー工業のホームページ(http://solutions. brother.co.jp/)で今後掲載される情報を参照してください。



付録

アップグレードの方法

# 本体仕様

	項目	仕様		
	本体寸法	幅 435mm ×高さ 292mm ×奥行 201mm		
	本体質量	8.8kg		
	液晶画面	バックライト拡散式タッチパネル		
	使用ミシン針	家庭用ミシン針 HA	( × 1	
	ランプ	白色 LED		
	ぬい速度	毎分 70 ~ 850 針	-	
定	格電圧 / 消費電力	100V / 50W 5	50 / 60Hz	
	搭載模様	実用 飾り サテンステッチ クロスステッチ かりサテン 実用飾り模様 アルファベット ひらがな カタカナ 数字 記号 漢字	: 71 : 31 : 18 : 15 : 10 : 39 : 97 × 3書体 : 75 : 76 : 10 : 28 : 15	
	最大振り幅	7.0mm		
	最大送り幅	5.0mm		
	刺しゅう範囲	180mm × 130mm		
	刺しゅう速度	毎分最大 650 針		
刺	最少ピッチ	0.1mm		
しゅう	搭載模様	ワンポイント模様 枠模様 英数 かな・カナ	: 136 : 10種、12ステッチ : 3書体 : 3書体	

#### 付録

# さくいん

数字	
2本針	
アルファ	アベット
Q	
Q&A	
U	
USB ケ- USB ポ-	ーブル

#### かな

#### ぁ

アーム	
アイレット	
あき止まり	
厚地をぬう	71
アップグレード	
アップリケ	
アップリケ押え	
アドバイス	
アルファベット	
安全にお使いいただくために	1

#### い

位置174
糸案内カバー
糸案内皿
糸案内板
糸色
糸色名
糸切り19, 61, 67
糸切りスイッチ
糸こま押え
糸こまネット
糸たて棒
糸調子
糸通し装置41
糸通しレバー
糸をまちがえてぬったとき
色替

#### う

ウィングニードル	
ウォーキングフット	
受け座	
薄地をぬう	
ウルトラポス	
上糸	

#### 

#### え

液晶画面	
液晶画面の操作 …	
エクストラテーブル	
エラーメッセージ	

#### お

大きなもの
オープニング画面
送り歯
押え14
押え圧ダイヤル
押え固定ピン14,71
押えの交換
押えホルダー
お手入れ
オリジナル模様を作る141

## \_か

#### き

記憶		80
記憶キー		22
基線		86
ギャザー		24
キャリッ	ジ	54
曲線をぬ	5	70

キルター		111
キルティング		110
キルト押え	14,	111

#### <

組み合わせ	
くり返し クレイジーキルト	
クロスステッチ	

# け

ケース	 13

# z

ゴムテープ付け	·	05
コンセント		25

# さ

サイズキー		
サイドカッタ	7一押え	
サテンステッ	・チ	
サテンぬい		
左右反転		
三重ぬい		
サンフェロン	/	

## し

シェルタック	125
時間	163
ジグザグ押え	
14, 82, 85, 97, 104, 106, 114	, 123
ジグザグの振り幅	63
刺しゅう	146
刺しゅう糸	146
刺しゅう押え	3, 149
刺しゅうカード	3, 168
刺しゅうカード差し込み口	), 169
刺しゅう機	152
刺しゅうキー	22
刺しゅう機差し込み口19	, 153
刺しゅうシート	, 158
刺しゅうの記憶	180
刺しゅう範囲	175
刺しゅう模様	162
刺しゅう用水溶性シート	, 146
刺しゅう用接着芯	, 146
刺しゅう枠	, 157
刺しゅうを中断するとき	177
下糸	31
下糸巻き案内1	9, 33
下糸巻き軸	35
下糸を引き出す	45
しつけぬい	85
実用飾り模様	76
実用/文字模様キー	22
実用模様	76
自動糸切り	67

自動返しぬい	
自動止めぬい	
地ぬい	
次ページキー	
伸縮ぬい	

# ₫

水溶性シート
スカラップ124
すそ上げ87
スタート
スタート/ストップスイッチ
ステッチガイド押え14,73
ステップ模様135
ストッパー
スピードコントロールレバー
スムースフット
スモッキング 124

# せ

接着芯	6
設定キー	2
設定の確認・変更2	7
前ページキー	2
前面1	9

# そ

操作音	
操作スイ	ッチ21
操作パネ	<i>ν</i> 22
操作早見	表
掃除	
速度	
側面	
そで付け	

## た

ダーニング		 	 1	17
たち目かがり		 	 	81
たち目かがり押	티え	 	 	81
試しぬい		 	 	70

#### ち

調節付き片	·押え14, 102
直線ぬい	
著作権	

## っ

使い方	29
使い方キー2	22
つき合わせ	26
つくろいぬい11	7
筒もの	52

# τ

手で針に糸を通す	 42
電源	 24
電源コード	 25
電源コンセント	 25
電源スイッチ	 25
電子音	 03
てんびんの確認窓	 40

#### 

特長		
途中で糸がな	よくなったとき	
止めぬい		
とめネジ		
ドライバー		
トラブル		
取扱説明書		
取扱説明 D∖	′D	
取り外しレノ	<i>"</i> — "	
ドロップレノ	<i>"—</i>	
ドロンワーク	7	

#### な

長さ	 1, 134

## に

	15	73
ニーリフター差し込み口		, 73

#### な

ぬい糸			 	
ぬい方			 	
ぬいしろの	始末		 	
ぬいしろの	幅をそろ	える	 	73
ぬい目の長	さ		 	64
布地のセッ	┝		 	57
布地ブロー	ド		 	15

#### の

\_\_\_\_\_

#### \_\_\_\_\_は\_\_\_\_\_\_

バージョン	27
ハードケース	
パイピング	
背面	
はさみ	
パッチワーク	
はとめ穴	
はとめ穴パンチ	
幅	63
針板	
針板カバー	
針板ドライバー	13, 186, 192, 193
針板ふた	
針位置	

張りが強い糸	
針上下スイッチ	21
針数	
針停止位置 .	
針の交換	
針の種類	
針棒糸かけ .	
反転	
ハンドル …	

#### <u></u>

ピーシング	
ピーシング押	え
ビニールをぬ	э́э72
表示言語	
ひらがな	

#### *.*31

ファゴティング	
ファスナー付け	
プーリー	
付属品バック	
付属品	
付属品トレイ	
フットコントローラー	
フットコントローラージャック	
ブラザー刺しゅう糸	
ブラザーワンポイント模様	
フリーアーム	
フリーモーションキルト	
振り幅	
振幅コントロール	
プログラム糸切り	
プロダクト No	

#### $\overline{}$

ヘアルーム	
別売刺しゅう機セット	

#### ほ

方向を変える	
補強	
ポケットロ	
補助糸たて棒	
保証書	
ボタン穴かがり	
ボタン穴かがり押え	
ボタン穴かがりレバー	
ボタン付け	
ボタン付け押え	
ほつれ止め	
ボビン	
ボビン受け座	

# <u></u>

マイイラストシート	 141
マイイラスト模様	 141

まつりぬい	 	87
まつりぬい押え	 14,	88

# 

ミシンの使い方	
ミシン針 …	
ミシンブラシ	
密度	

## め

名称		 	 	19
メッセー	・ジ	 	 2	00

# も

文字刺しゅう				164
戻るキー				22
模様ぬい押え		119,	120,	130
模様の位置				174
模様の大きさ				133
模様の確認				132
模様の記憶			.137,	180
模様の組み合	<sup>,</sup> わせ			131
模様のくり返	.U			132
模様の種類			76,	162
模様の選択			77,	162
模様の調整				138
模様の長さ				134
模様の幅				63
模様の反転			.135,	175
模様の密度				133
模様の呼び出	ıL			137

## よ

横送り	
呼び出し	

## 5

ランプ	
b	
リッパー	
n	

# <u>わ</u>

ワイドテーブル	,
枠模様	
ワンポイント模	様167

#### アフターサービス

- ご購入の際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 修理については、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」に ご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様 相談室(ミシン119番)」へお問い合わせください。

#### お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの 販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室(ミシン119番)
TEL:0120-340-233
FAX:052-824-3031
受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30
休業日 :土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

 ● お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
 ● 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械 番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
 ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店または上記「お客様 相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、 ご了承ください。

#### ホームページ

- ●ブラザーのホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/
- ●ブラザーソリューションセンターでは、家庭用ミシンに関するサポート情報を掲載しております。

http://solutions.brother.co.jp/sewing\_support/index.html



ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

114-U16 Printed in China



XE1290-201④